

令和5年度
八戸市スポーツ推進計画アンケート報告書

令和5年5月30日

目 次

I. 概要.....	1
II. 調査結果.....	2
1. 自身の生活の充実度について.....	2
2. 1日当たりの平均歩数について.....	3
3. 2022年度の1年間のうち一度でもおこなったスポーツについて.....	4
4. 2022年度の1年間に運動やスポーツをおこなった合計日数について.....	6
5. 運動やスポーツをすることは好きか.....	7
6. 運動やスポーツをおこなうことができなかつた理由について.....	7
7. 今後おこなってみたいと思う運動やスポーツについて.....	8
8. 運動やスポーツをおこなうために1年間にかかるおよその費用について.....	9
9. 現在加入している又は加入したいスポーツ関連団体について.....	10
10. 2022年度に参加した、又は今後参加したいスポーツイベントについて.....	11
11. 普段運動やスポーツのサポートを受けている、又はサポートを受けてみたいと思う指導者について.....	12
12. 職場で実施されている従業員の運動やスポーツの実施を支援する取組について.....	13
13. 市有スポーツ施設で知っている施設、又は利用したことがある施設について.....	14
14. 市有スポーツ施設に対して改善を望むことについて.....	16
15. 市有体育施設で実施しているスポーツ教室等で知っているもの、又は利用・参加したことがあるものについて.....	17
16. 小学生以下の子どもがいて、運動やスポーツを実施している場（団体）について.....	18
17. 小学生以下の子どもがいて、運動やスポーツを実施させるうえで必要な環境（クラブ、施設、指導者など）について.....	19
18. 60歳以上の人について定期的に実施している活動（趣味、町内会活動、老人クラブなど）について.....	20
19. 60歳以上の人について行政などが提供している介護予防事業等への継続的な参加状況について.....	21
20. 2022年度の1年間に会場で直接、又はテレビなどで観戦したスポーツについて（アンケート問27-1.2）.....	22
21. 2022年度の1年間に会場で直接、又はインターネットなどで観戦した「地域のプロスポーツ」について.....	24
22. 2022年度の1年間に会場で直接、又はテレビ（インターネット）などで観戦した合計日数について.....	25
23. 2022年度の1年間でおこなった運動やスポーツに関するボランティア活動について.....	26
24. 2022年度の1年間でおこなった運動やスポーツに関するボランティア活動を行った合計日数について.....	27
III. アンケート調査票	

I. 概要

1. 調査の内容

回答者に関する情報のほか、八戸市スポーツ推進計画で掲げる3つの基本目標に沿った、運動やスポーツをする視点、みる視点に加えボランティア活動（ささえる視点）に関する内容。

2. 調査対象者

- ①18歳以上の八戸市民（②を除く）
- ②市政モニター

3. 調査実施期間

令和5年3月22日（水）から4月21日（金）まで

4. 調査方法

アンケート調査用紙またはウェブアンケート（※対象者①はウェブアンケートのみ）

5. 性別・年齢別回答結果

性別 年齢	回 答 数	割 合 (%)	性別 年齢	回 答 数	割 合 (%)	性別 年齢	回 答 数	割 合 (%)	計	割 合 (%)		
男性	10代	1	1.0%	女性	10代	0	0.0%	10代	0	0.0%	1	0.5%
	20代	16	15.8%		20代	6	7.4%	20代	0	0.0%	22	12.0%
	30代	16	15.8%		30代	17	21.0%	30代	0	0.0%	33	17.9%
	40代	30	29.7%		40代	20	24.7%	40代	1	50.0%	51	27.7%
	50代	19	18.8%		50代	19	23.5%	50代	1	50.0%	39	21.2%
	60代	12	11.9%		60代	9	11.1%	60代	0	0.0%	21	11.4%
	70代以上	7	6.9%		70代以上	10	12.3%	70代以上	0	0.0%	17	9.2%
計	101	100	計	81	100	計	2	100	184	100		

※なお、本調査において回答していただいた市外在住者3名は回答対象外とする。

6. アンケート結果

次頁以降に掲載

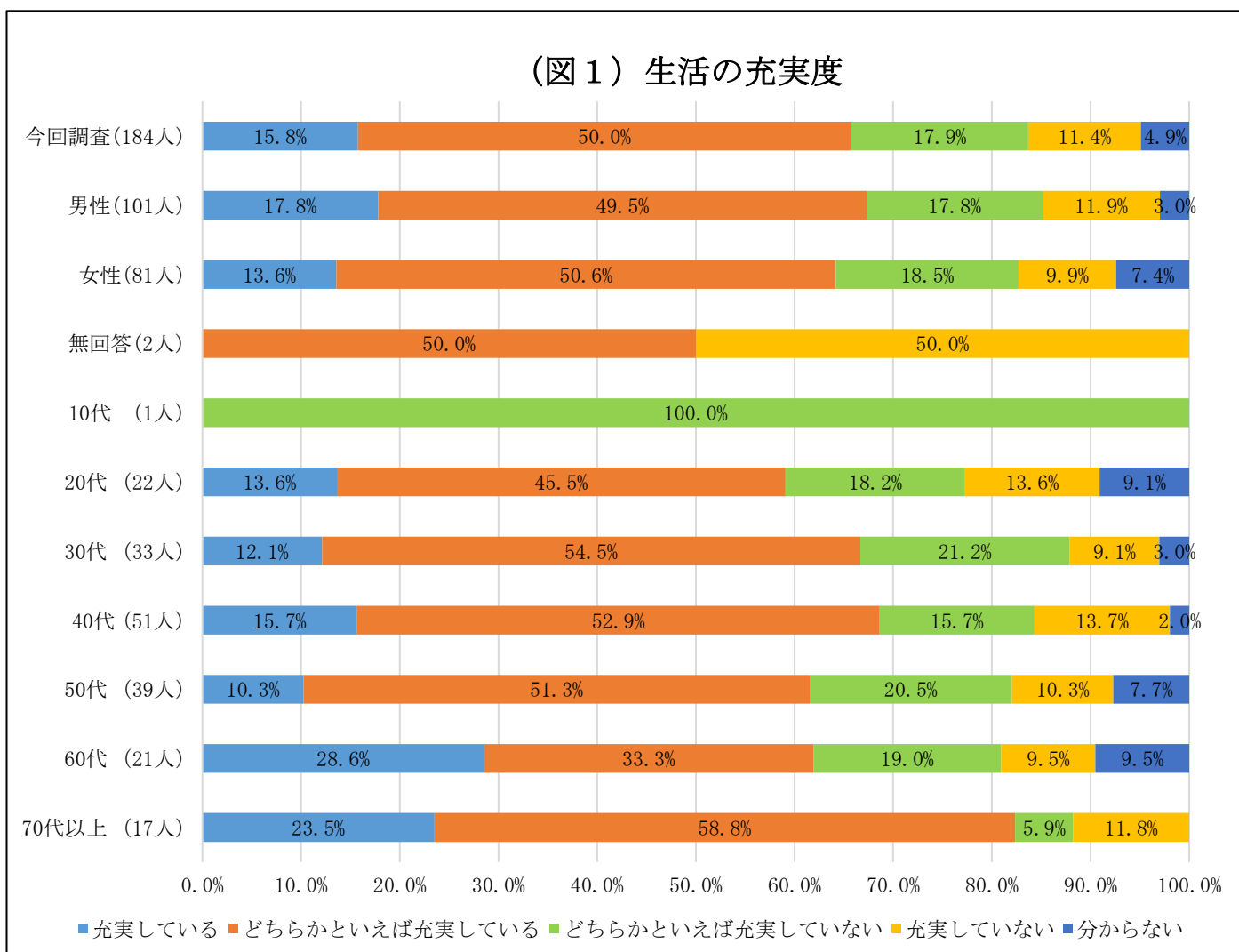
Ⅱ. 調査結果

1. 自身の生活の充実度について（アンケート問8）

現在、自分の生活が充実しているか聞いたところ、「充実している」と答えた人の割合が65.8%（「充実している」15.8%+「どちらかといえば充実している」50.0%）であり、「充実していない」と答えた人の割合が29.3%（「どちらかといえば充実していない」17.9%+「充実していない」11.4%）であった（図1）

性別でみると、「充実している」と答えた人の割合が女性（64.2%）よりも男性（67.3%）の方が高かった。

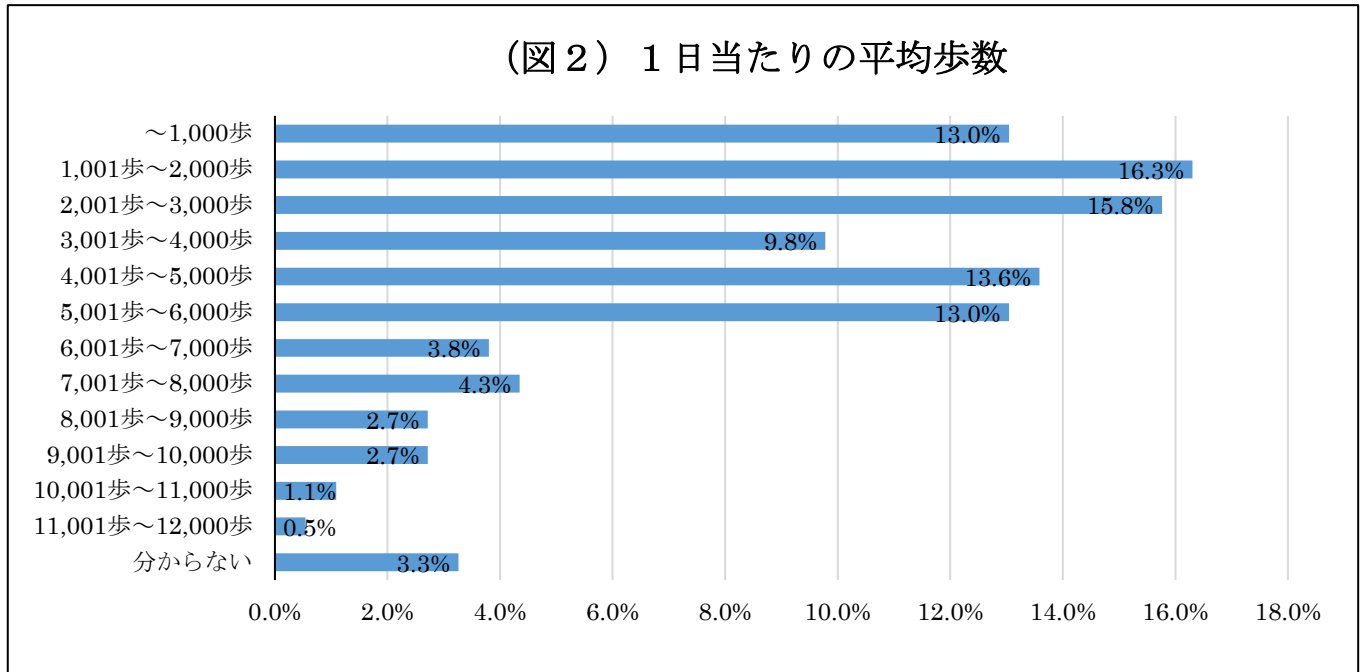
また、年齢別でみると、「充実している」と答えた人の割合が最も高かったのは、70代以上（82.3%）であり、最も低かったのは、20代（59.1%）であった。



2. 1日当たりの平均歩数について（アンケート問9）

1日当たりの平均歩数について聞いてみたところ、「1,001歩～2,000歩」（16.3%）と答えた人の割合が最も高かった。続いて、「2,001歩～3,000歩」（15.8%）、「4,001歩～5,000歩」（13.6%）、「～1,000歩」（13.0%）、「5,001歩～6,000歩」（13.0%）という結果であった。（図2）

性別で見ると、5,000歩以上歩いている人の割合について、男性が31.9%（14.9%+5.0%+3.0%+5.0%+1.0%+2.0%+1.0%）に対して、女性は24.7%（11.1%+2.5%+6.2%+4.9%）という結果であった。（表1）



（表1）1日当たりの平均歩数

（単位：％）

項目	～	1,001	2,001	3,001	4,001	5,001	6,001	7,001	8,001	9,001	10,001	11,001	分からない
	1,000	～ 2,000	～ 3,000	～ 4,000	～ 5,000	～ 6,000	～ 7,000	～ 8,000	～ 9,000	～ 10,000	～ 11,000	～ 12,000	
今回調査 (184人)	13.0	16.3	15.8	9.8	13.6	13.0	3.8	4.3	2.7	2.7	1.1	0.5	3.3
[性別]													
男性(101人)	10.9	14.9	18.8	9.9	9.9	14.9	5.0	3.0	5.0	1.0	2.0	1.0	4.0
女性(81人)	16.0	18.5	12.3	8.6	17.3	11.1	2.5	6.2	0.0	4.9	0.0	0.0	2.5
無回答(2人)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
[年齢別]													
10代(1人)	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(22人)	13.6	13.6	18.2	13.6	22.7	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
30代(33人)	6.1	15.2	18.2	9.1	15.2	18.2	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	6.1
40代(51人)	13.7	15.7	19.6	5.9	11.8	13.7	2.0	5.9	2.0	5.9	0.0	2.0	2.0
50代(39人)	7.7	25.6	15.4	12.8	15.4	5.1	7.7	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6
60代(21人)	19.0	9.5	4.8	9.5	9.5	19.0	4.8	4.8	4.8	0.0	9.5	0.0	4.8
70代以上(17人)	23.5	11.8	11.8	11.8	5.9	11.8	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0

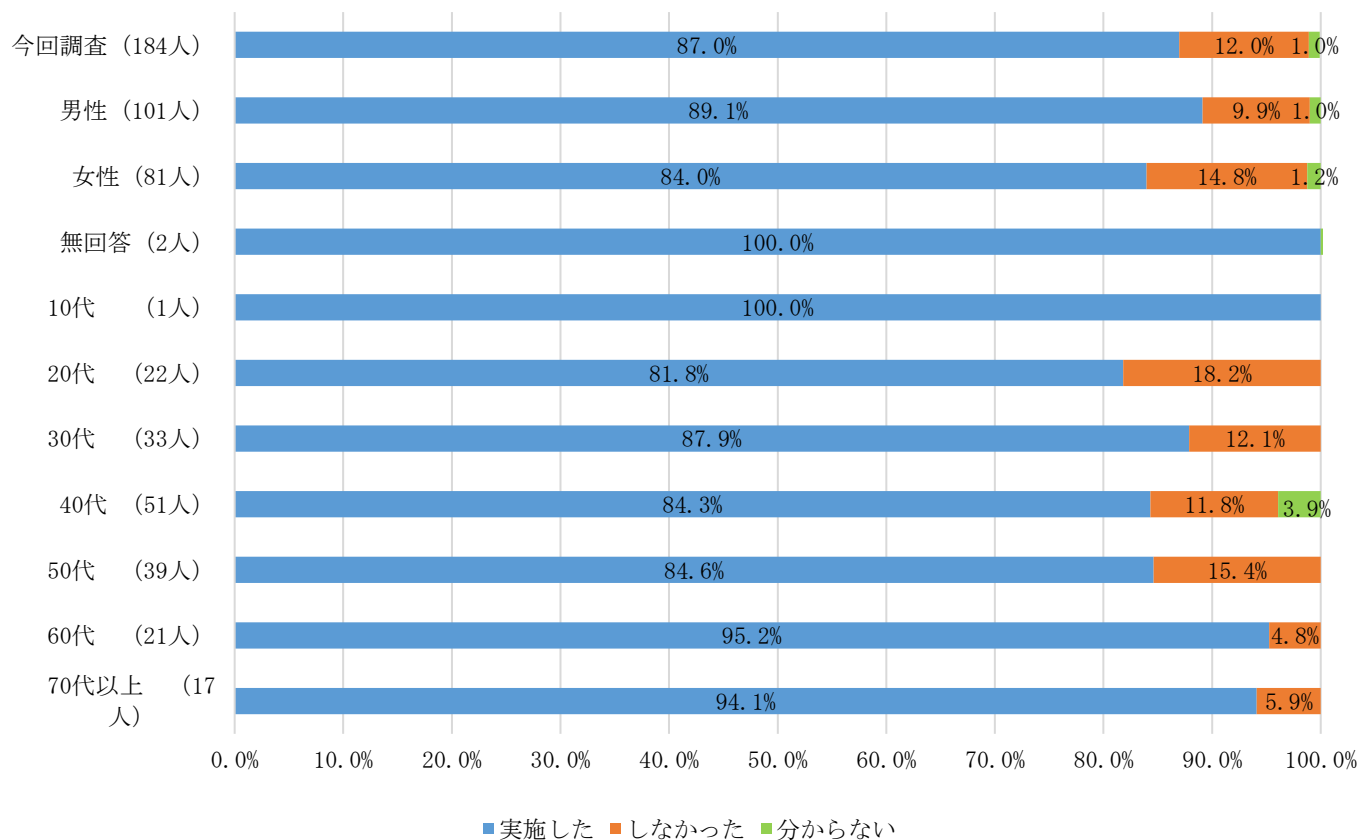
3. 2022 年度の 1 年間のうち一度でもおこなったスポーツについて（アンケート問 10）

（1）運動やスポーツの実施状況について

2022 年度の 1 年間に一度でもおこなったスポーツについて聞いたところ、スポーツ種目を一つでも選択した人の割合が 87.0%、「しなかった」と回答した人の割合が 12.0%となった。（図 3）

性別でみると、「しなかった」と回答した人の割合が男性（9.9%）よりも女性（14.8%）の方が高いという結果であった。

（図 3） 運動やスポーツの実施状況



(2) 実施した運動やスポーツの種目（上位5種目）

2022年度の1年間におこなった運動やスポーツの種類を種目別に見ると、「ウォーキング」と答えた人が70.1%と最も高く、以下、「階段昇降」(41.3%)、「トレーニング（自宅等で動画配信利用等）」(13.0%)、「ランニング」(12.5%)、「トレーニング（ジム等利用）」(12.0%)が上位であった。（複数回答）（表2）

（表2）2022年度1年間におこなった運動やスポーツの種目（上位5種目）

（複数回答 単位：%）

項目	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (184人)	ウォーキング (70.1)	階段昇降 (41.3)	トレーニング(自宅) (13.0)	ランニング (12.5)	トレーニング(ジム等) (12.0)
[性別]					
男性 (101人)	ウォーキング (69.3)	階段昇降 (42.6)	ランニング (17.8)	サッカー (12.9)	トレーニング(ジム等) (11.9)
女性 (81人)	ウォーキング (70.4)	階段昇降 (39.5)	トレーニング(自宅) (17.3)	縄跳び (12.3)	トレーニング(ジム等) (11.1)
無回答 (2人)	ウォーキング (100.0)	階段昇降 (50.0)	ランニング (50.0)	トレーニング(ジム等) (50.0)	-
[年齢別]					
10代 (1人)	ウォーキング (100.0)	階段昇降 (100.0)	トレーニング(自宅) (100.0)	-	-
20代 (22人)	ウォーキング (45.5)	階段昇降 (22.7)	トレーニング(自宅) (13.6)	トレーニング(ジム等) (13.6)	バスケットボール※1 (9.1)
30代 (33人)	ウォーキング (75.8)	階段昇降 (60.6)	ランニング (30.3)	トレーニング(ジム等) (24.2)	トレーニング(自宅) (21.2)
40代 (51人)	ウォーキング (70.6)	階段昇降 (43.1)	トレーニング(自宅) (13.7)	ランニング (11.8)	トレーニング(ジム等) (11.8)
50代 (39人)	ウォーキング (64.1)	階段昇降 (25.6)	ランニング (10.3)	トレーニング(ジム等) (10.3)	ボウリング (7.7)
60代 (21人)	ウォーキング (85.7)	階段昇降 (38.1)	エアロビクス・ヨガ等 (9.5)	トレーニング(自宅) (9.5)	縄跳び※2 (9.5)
70代以上 (17人)	ウォーキング (82.4)	階段昇降 (58.8)	ダンス (17.6)	体操 (17.6)	アグアエクササイズ等※3 (11.8)

※1 以下同順位 サッカー、卓球

※2 以下同順位 ボウリング

※3 以下同順位 トレーニング(自宅)、グラウンドゴルフ、武術太極拳

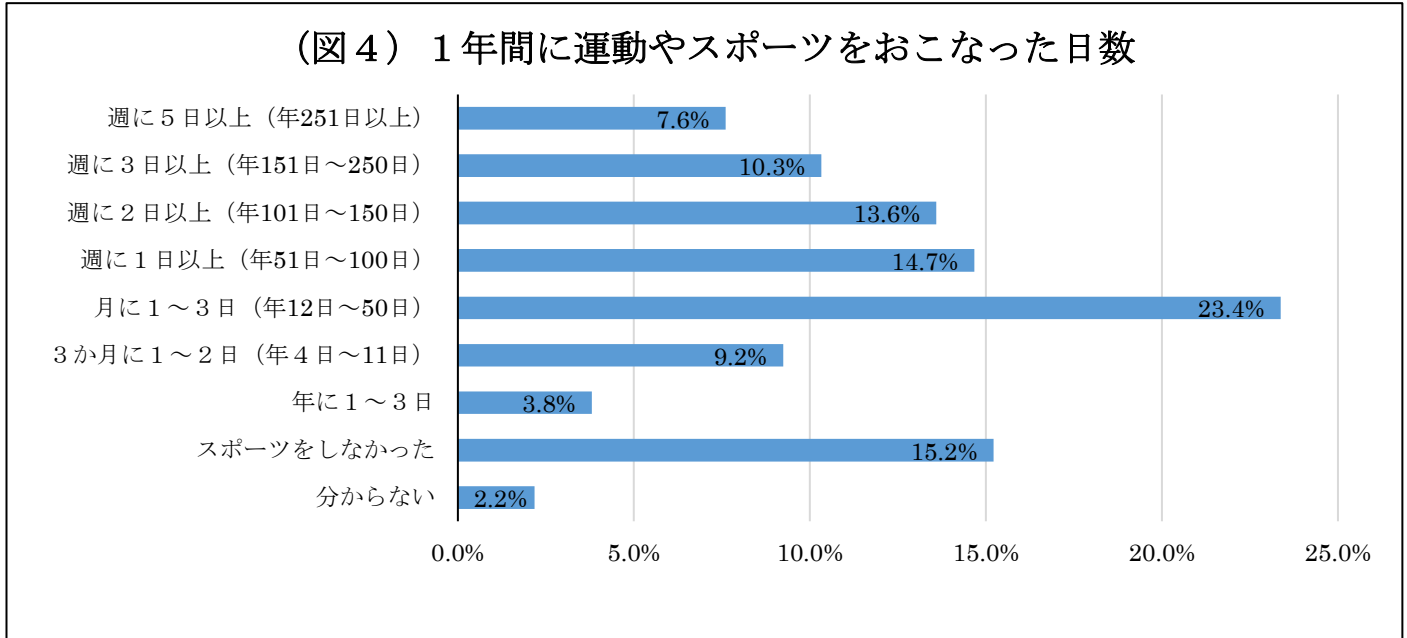
(3) 障がい者スポーツについて

2022年度の1年間で障がい者スポーツを実施について聞いたところ、実施したと回答した人は2人(1.1%)であった。

4. 2022年度の1年間に運動やスポーツをおこなった合計日数について（アンケート問11）

この1年間に運動やスポーツをおこなった合計日数を聞いたところ、「月に1～3日」（23.4%）と答えた人の割合が最も高く、次いで、「週に1日以上」（14.7%）であった。（図4）

性別でみると、週に1日以上、継続的にスポーツをおこなっている人の割合は、46.2%（14.7%+13.6%+10.3%+7.6%）であり、男性は47.5%（15.8%+14.9%+9.9%+6.9%）、女性は44.4%（13.6%+12.3%+11.1%+7.4%）との結果であった。（表3）



（表3） 1年間に運動やスポーツをおこなった日数

（単位：%）

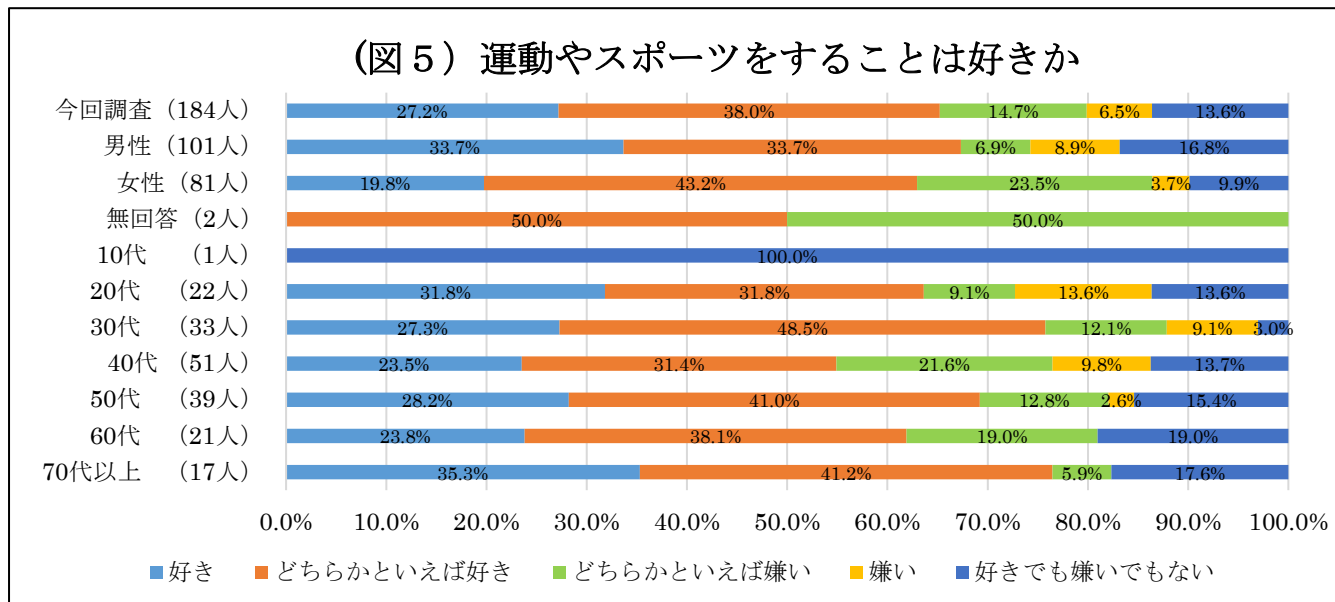
項目	週に5日以上	週に3日以上	週に2日以上	週に1日以上	月に1～3日	3か月に1～2日	年に1～3日	しなかった	分からない
今回調査 (184人)	7.6	10.3	13.6	14.7	23.4	9.2	3.8	15.2	2.2
[性別]									
男性(101人)	6.9	9.9	14.9	15.8	22.8	9.9	3.0	13.9	3.0
女性(81人)	7.4	11.1	12.3	13.6	24.7	8.6	4.9	17.3	0.0
無回答(2人)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
[年齢別]									
10代(1人)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(22人)	9.1	18.2	4.5	4.5	22.7	18.2	4.5	18.2	0.0
30代(33人)	6.1	9.1	21.2	21.2	21.2	0.0	0.0	18.2	3.0
40代(51人)	2.0	13.7	5.9	13.7	23.5	15.7	9.8	15.7	0.0
50代(39人)	7.7	2.6	15.4	12.8	28.2	10.3	2.6	17.9	2.6
60代(21人)	14.3	9.5	9.5	19.0	28.6	4.8	0.0	4.8	9.5
70代以上(17人)	17.6	11.8	35.3	17.6	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0

5. 運動やスポーツをすることは好きか。(アンケート問 12)

運動やスポーツをすることが好きかどうか聞いたところ、好きと答えた人の割合は 65.2%（「好き」27.2% + 「どちらかといえば好き」38.0%）であった。（図 5）

性別でみると、男性では、好きと答えた人の割合が 67.4%（「好き」33.7%+「どちらかといえば好き」33.7%）であり、女性は 63.0%（「好き」19.8%+「どちらかといえば好き」43.2%）という結果であった。

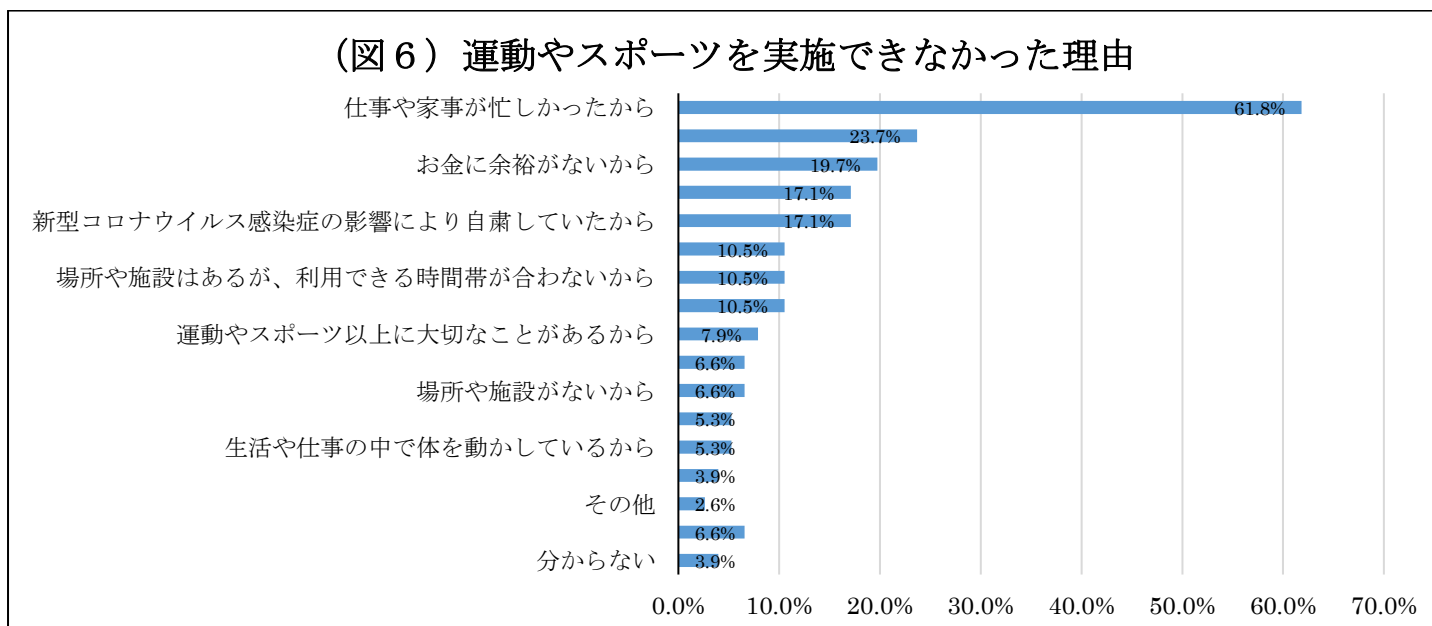
年齢別でみると、好きと答えた人の割合について 70 代が 76.5%（「好き」35.3%+「どちらかといえば好き」41.2%）と最も高く、40 代が 54.9%（「好き」23.5%+「どちらかといえば好き」31.4%）と最も低い割合であった。



6. 運動やスポーツをおこなうことができなかった理由について (アンケート問 13)

設問 4 (アンケート問 11) の回答で「月に 1~3 回 (年に 12 日~50 日)」以下で、かつ設問 5 (アンケート問 12) の回答が「好き」、「どちらかといえば好き」、「好きでも嫌いでもない」を選択した人に対して、2022 年度中に運動やスポーツがおこなえなかった理由について聞いたところ、条件に該当する人は 76 人

(41.3%) であり、「仕事や家事が忙しかったから」(61.8%) が最も高く、次いで「育児が忙しかったから」(23.7%) が多かった。（図 6）



7. 今後おこなってみたいと思う運動やスポーツについて（アンケート問 14）

（1）今後おこなってみたい運動やスポーツの種目について

今後おこなってみたいと思う運動やスポーツについて現在行っているものも含めて聞いたところ、「ウォーキング」と答えた人が 57.6%と最も高く、以下、「階段昇降」（27.2%）、「トレーニング（ジム等利用）」（26.6%）、「ランニング」（19.6%）、「エアロビクス・ヨガ等」（19.6%）が上位であった。（複数回答）（表 4）

（表 4）今後おこなってみたい運動やスポーツの種目（上位 5 種目）

（複数回答 単位：％）

項目	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (184人)	ウォーキング (57.6)	階段昇降 (27.2)	トレーニング(ジム等) (26.6)	ランニング (19.6)	エアロビクス・ヨガ等 (19.6)
[性別]					
男性 (101人)	ウォーキング (52.5)	階段昇降 (28.7)	ランニング (27.7)	トレーニング(ジム等) (27.7)	サッカー (15.7)
女性 (81人)	ウォーキング (65.4)	エアロビクス・ヨガ等 (34.6)	階段昇降 (25.9)	トレーニング(ジム等) (25.9)	アクアエクササイズ等 (19.8)
無回答 (2人)	ウォーキング (100.0)	階段昇降 (50.0)	ランニング (50.0)	トレーニング(ジム等) (50.0)	-
[年齢別]					
10代 (1人)	ウォーキング (100.0)	階段昇降 (100.0)	トレーニング(自宅) (100.0)	スケート (100.0)	-
20代 (22人)	トレーニング(ジム等) (40.9)	トレーニング(自宅) (18.2)	サッカー (18.2)	ボウリング (18.2)	ランニング※1 (13.6)
30代 (33人)	ウォーキング (54.5)	階段昇降 (39.4)	トレーニング(ジム等) (39.4)	ランニング (30.3)	トレーニング(自宅)※2 (21.2)
40代 (51人)	ウォーキング (54.9)	階段昇降 (29.4)	トレーニング(ジム等) (21.6)	エアロビクス・ヨガ等 (19.6)	スキー・スノーボード (17.6)
50代 (39人)	ウォーキング (66.7)	エアロビクス・ヨガ等 (30.8)	ランニング (28.2)	トレーニング(ジム等) (25.6)	水泳 (17.9)
60代 (21人)	ウォーキング (81.0)	階段昇降 (42.9)	トレーニング(ジム等) (23.8)	エアロビクス・ヨガ等 (19.0)	ランニング※3 (14.3)
70代以上 (17人)	ウォーキング (94.1)	階段昇降 (35.3)	アクアエクササイズ等 (29.4)	水泳 (17.6)	グラウンド・ゴルフ (17.6)

※1 以下同順位 卓球、バドミントン、テニス、スケート

※2 以下同順位 エアロビクス・ヨガ等

※3 以下同順位 トレーニング(自宅)

（2）障がい者スポーツについて

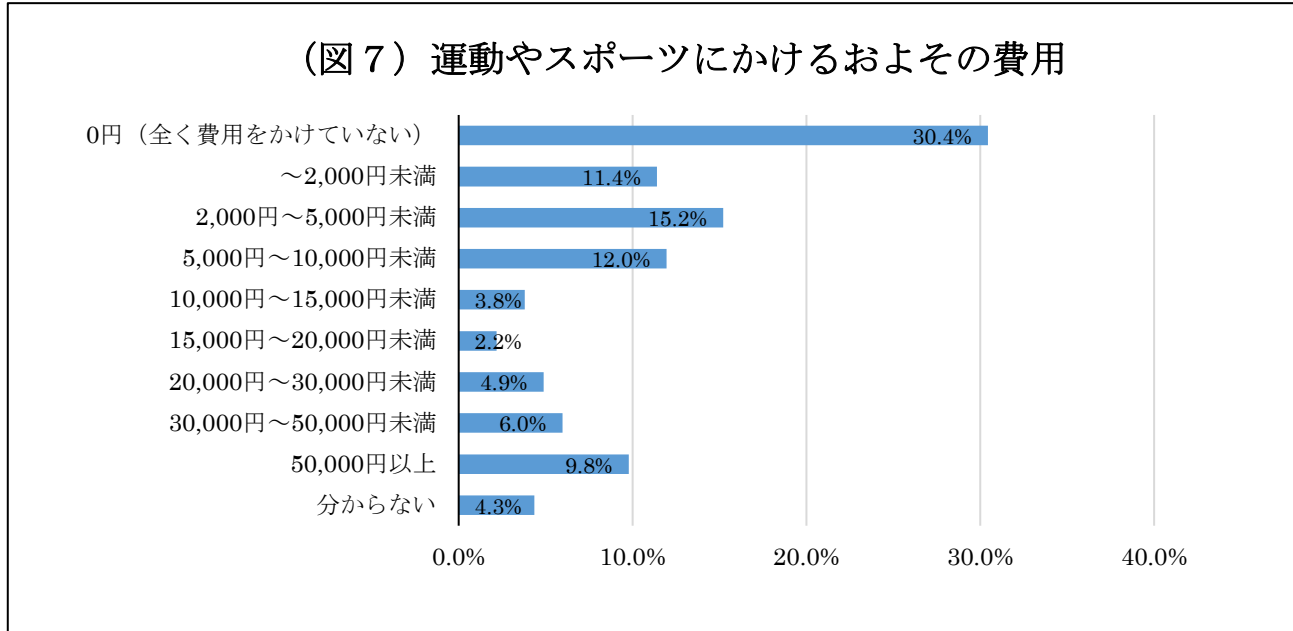
今後、障がい者スポーツをおこなってみたいか聞いたところ、「おこなってみたい」と回答した人は 5 名(2.7%)であった。なお、おこなってみたい障がい者スポーツの種目については不明である。

8. 運動やスポーツをおこなうために1年間にかかるおよその費用について（アンケート問15）

※ジムやスクールの会費・利用料、スポーツ用品の購入費などが該当。飲料・サプリメント代などは含まれない。

運動やスポーツをおこなうためにかかるおよその費用について聞いたところ、「0円（全く費用をかけていない）」（30.4%）が最も高かった。（図7）

性別で見ると、男女とも「0円（全く費用をかけていない）」と答えた人の割合が高く、男性よりも女性の方が「0円（全く費用をかけていない）」と答えた人の割合が高かった。（表5）



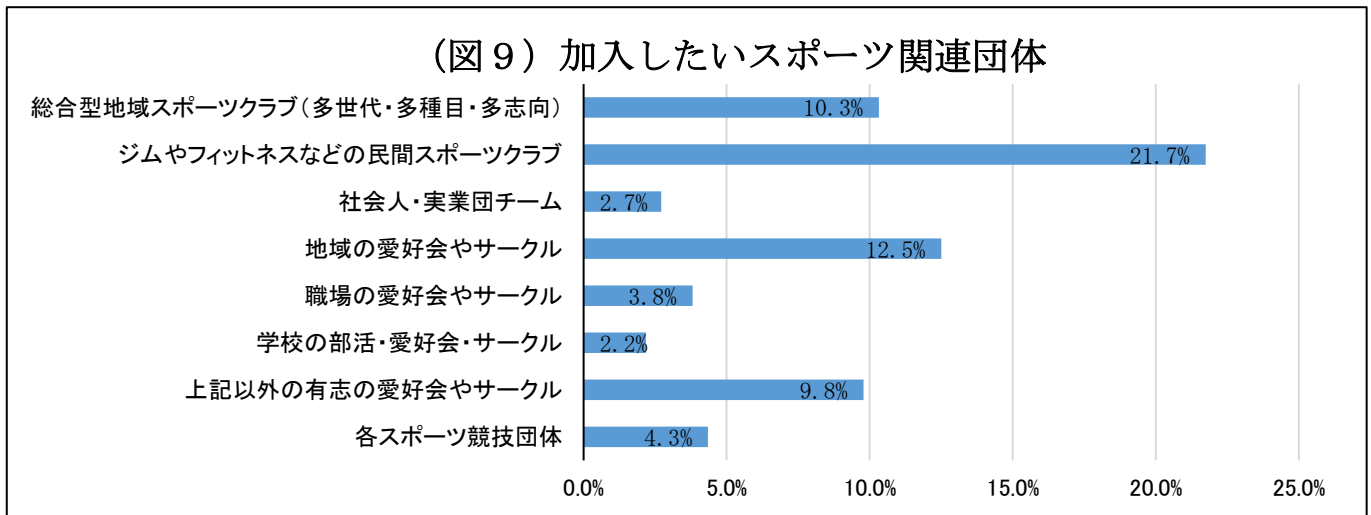
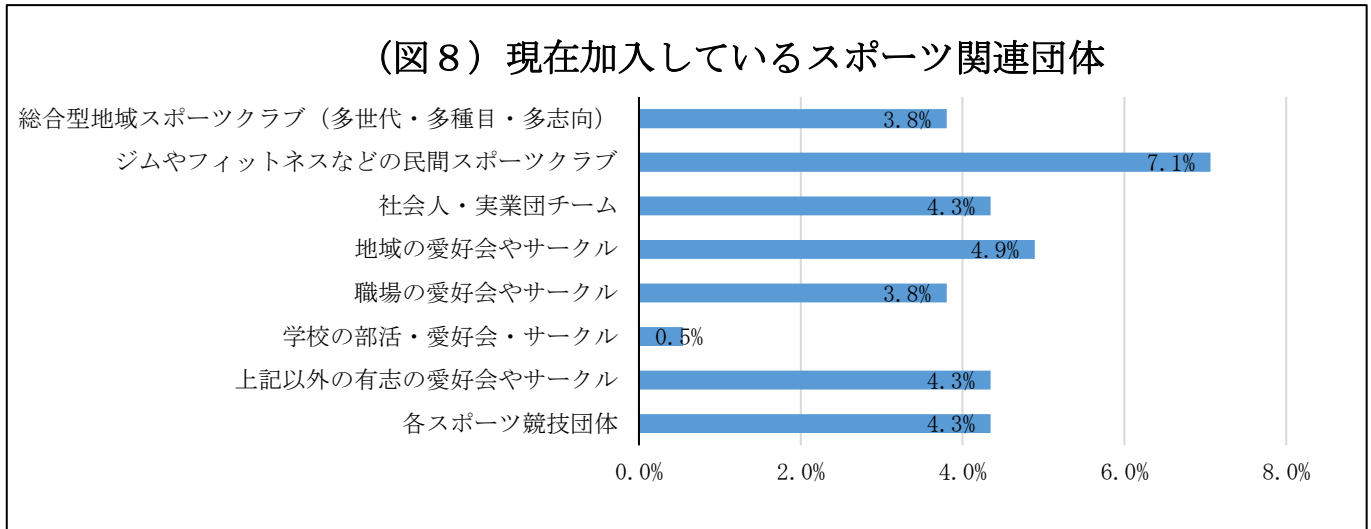
（表5） 運動やスポーツにかかるおよその費用

（単位：％）

項目	全くか けてい ない	～ 2,000円 未満	2,000 ～ 5,000円 未満	5,000 ～ 10,000 円未満	10,000 ～ 15,000 円未満	15,000 ～ 20,000 円未満	20,000 ～ 30,000 円未満	30,000 ～ 50,000 円未満	50,000 円以上	分から ない
今回調査 (184人)	30.4	11.4	15.2	12.0	3.8	2.2	4.9	6.0	9.8	4.3
[性別]										
男性(101人)	27.7	6.9	12.9	10.9	5.0	2.0	7.9	6.9	13.9	5.9
女性(81人)	33.3	17.3	18.5	13.6	2.5	2.5	1.2	4.9	4.9	1.2
無回答(2人)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
[年齢別]										
10代(1人)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(22人)	31.8	18.2	22.7	9.1	0.0	9.1	4.5	0.0	0.0	4.5
30代(33人)	39.4	9.1	12.1	12.1	0.0	0.0	6.1	6.1	15.2	0.0
40代(51人)	31.4	13.7	13.7	7.8	7.8	0.0	7.8	7.8	9.8	0.0
50代(39人)	25.6	10.3	15.4	15.4	2.6	2.6	2.6	7.7	7.7	10.3
60代(21人)	23.8	9.5	14.3	14.3	4.8	4.8	0.0	9.5	9.5	9.5
70代以上(17人)	23.5	5.9	17.6	17.6	5.9	0.0	5.9	0.0	17.6	5.9

9. 現在加入している又は加入したいスポーツ関連団体について（アンケート問 16-1, 16-2）

現在加入している、又は加入したいスポーツ関連団体について、それぞれ聞いたところ、どちらも「ジムやフィットネスなどの民間スポーツクラブ」（「加入している」（7.1%）、「加入したい」（21.7%））と回答した人が最も多かった。（複数回答）（図8、9）



（表6）現在加入している、又は加入してみたいスポーツ関連団体

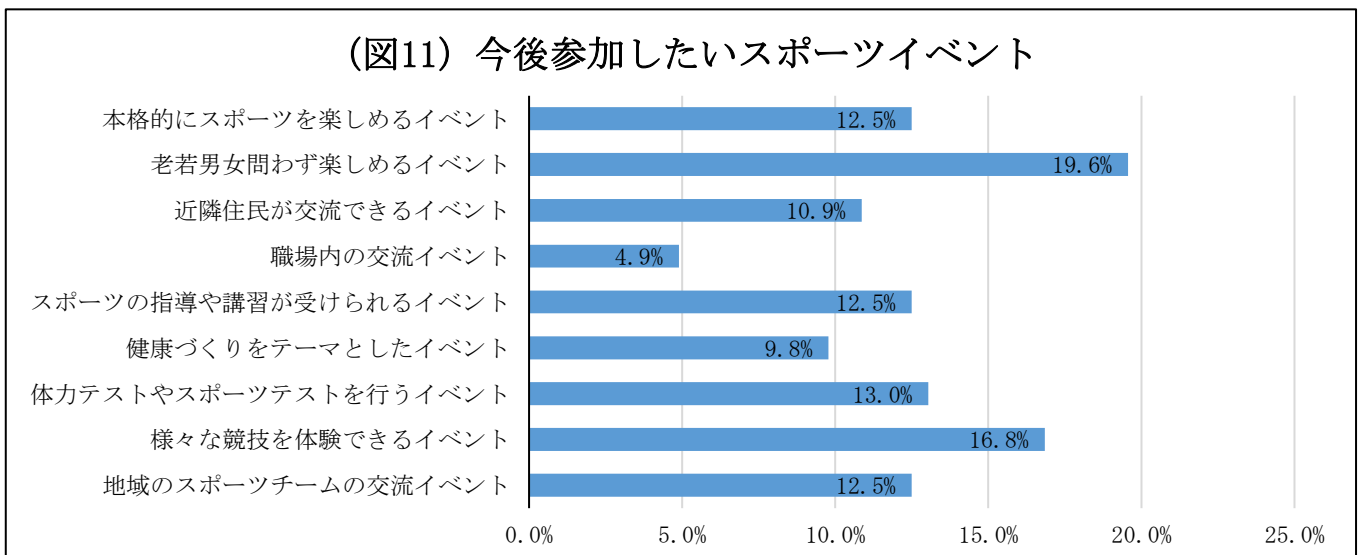
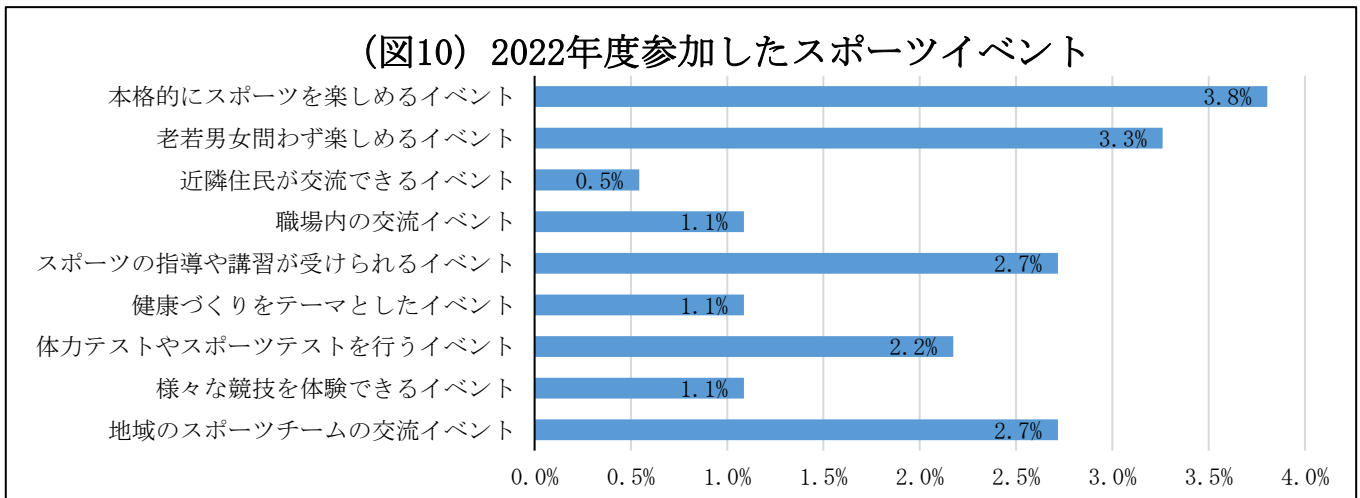
（複数回答 単位：％）

	現在加入している				今後加入したい			
	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答	全体
・総合型地域スポーツクラブ	3.0	4.9	0.0	3.8	10.9	9.9	0.0	10.3
・ジムやフィットネスなどの民間スポーツクラブ	10.9	2.5	0.0	7.1	15.8	29.6	0.0	21.7
・社会人・実業団チーム	6.9	1.2	0.0	4.3	3.0	2.5	0.0	2.7
・地域の愛好会やサークル	5.0	4.9	0.0	4.9	11.9	13.6	0.0	12.5
・職場の愛好会やサークル	6.9	0.0	0.0	3.8	3.0	4.9	0.0	3.8
・学校の部活・愛好会・サークル	0.0	1.2	0.0	0.5	3.0	1.2	0.0	2.2
・上記以外の有志の愛好会やサークル	5.9	2.5	0.0	4.3	10.9	8.6	0.0	9.8
・各スポーツ競技団体（運営・審判等）	4.0	4.9	0.0	4.3	5.9	2.5	0.0	4.3

10. 2022 年度に参加した、又は今後参加したいスポーツイベントについて

(アンケート問 17-1、17-2)

2022 年度に参加した、今後参加したいスポーツイベントについて聞いたところ、参加したスポーツイベントでは、「本格的にスポーツを楽しめるイベント」(3.8%)と最も高く、参加したいスポーツイベントでは、「老若男女問わず楽しめるイベント」(19.6%)が最も高いという結果であった。(複数回答)(図 10、11)



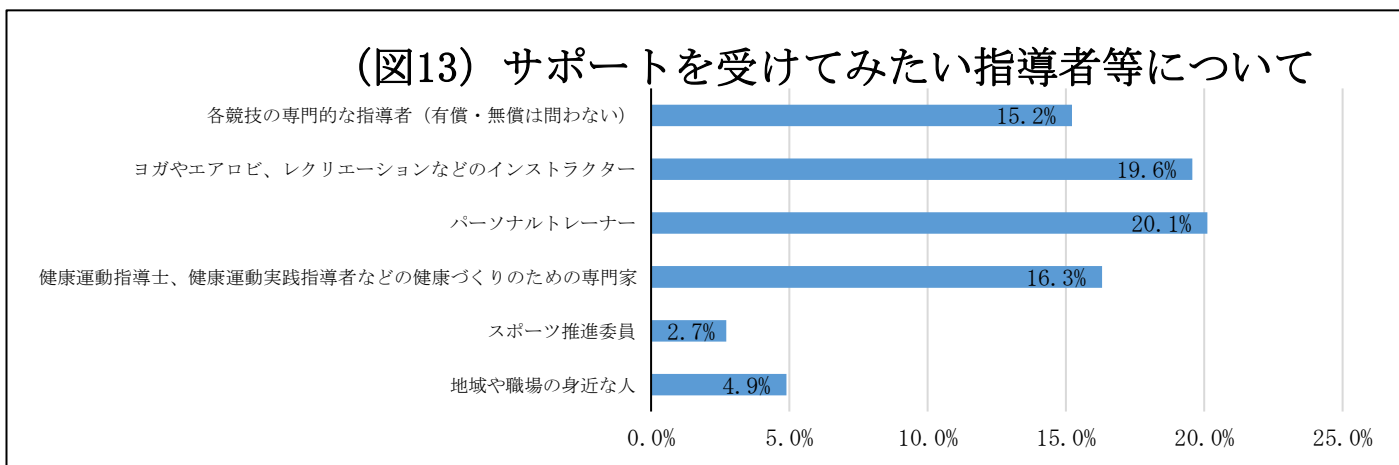
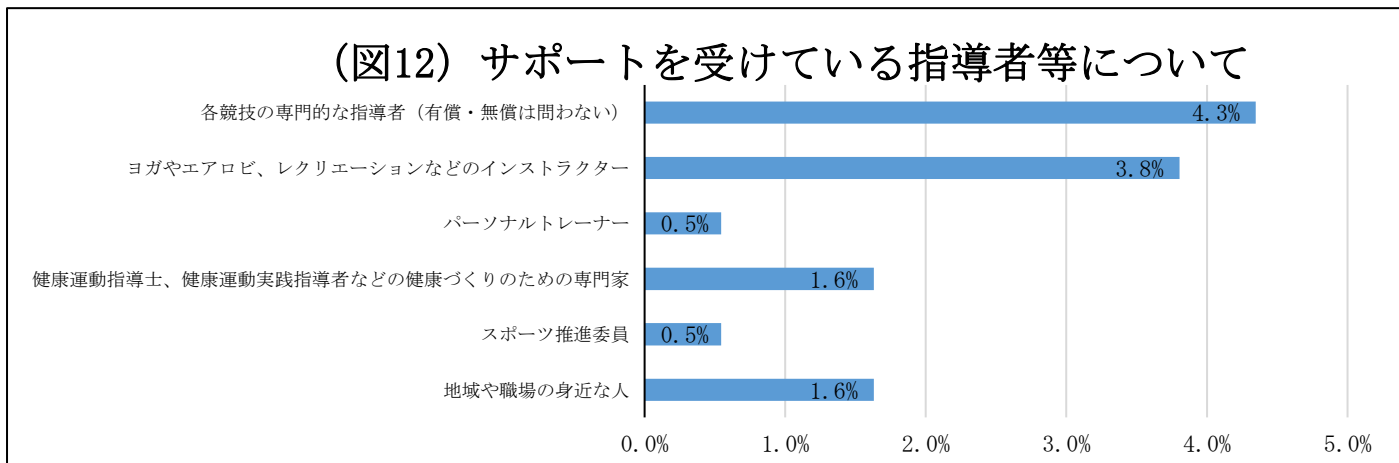
(表 7) 2022 年度に参加、又は今後参加したいスポーツイベントについて

(複数回答 単位：%)

	2022 年参加した				今後参加したい			
	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答	全体
・本格的にスポーツを楽しめるイベント	5.0	2.5	0.0	3.8	15.8	8.6	0.0	12.5
・老若男女問わず楽しめるイベント	2.0	4.9	0.0	3.3	21.8	17.3	0.0	19.6
・近隣住民が交流できるイベント	1.0	0.0	0.0	0.5	10.9	11.1	0.0	10.9
・職場内の交流イベント	1.0	1.2	0.0	1.1	5.9	3.7	0.0	4.9
・スポーツの指導や講習が受けられるイベント	4.0	1.2	0.0	2.7	10.9	14.8	0.0	12.5
・介護予防などの健康づくりをテーマとしたイベント	0.0	2.5	0.0	1.1	7.9	12.3	0.0	9.8
・体力テストやスポーツテストを行うイベント	3.0	1.2	0.0	2.2	10.9	16.0	0.0	13.0
・様々な競技を体験できるイベント	2.0	0.0	0.0	1.1	16.8	17.3	0.0	16.8
・地域のスポーツチームの交流イベント	4.0	1.2	0.0	2.7	9.9	16.0	0.0	12.5

11. 普段運動やスポーツのサポートを受けている、又はサポートを受けてみたいと思う指導者について（アンケート問 18-1、18-2）

普段、運動やスポーツのサポートを受けているか聞いたところ、「各競技の専門的な指導者（有償・無償は問わない）」（4.3%）が最も高かった。また、サポートを受けてみたい指導者等について聞いたところ、「パーソナルトレーナー」（20.1%）と回答した人が最も多く、続いて「ヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクター」（19.6%）、「健康づくりのための専門家」（16.3%）の順であった。（複数回答）（図 12、13）



(表 8) 運動やスポーツのサポートを受けているか、又は受けてみたいか

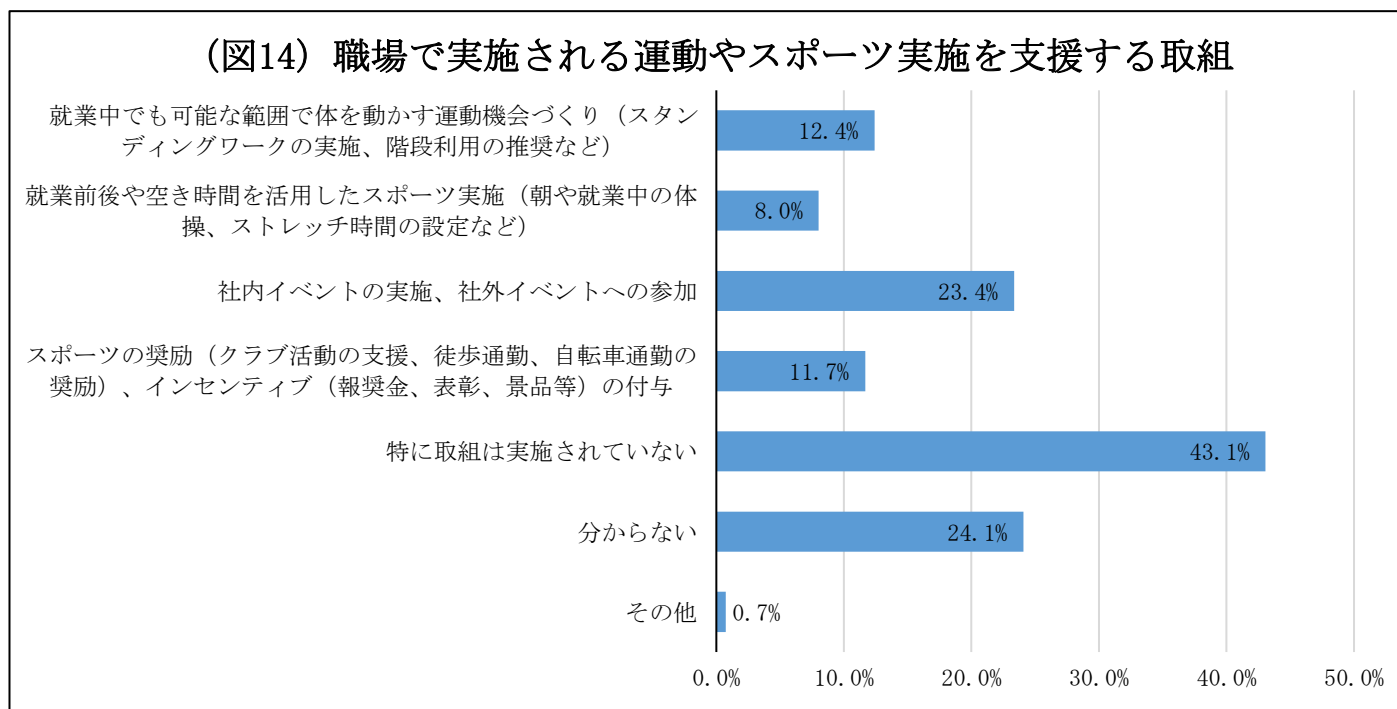
(複数回答 単位：%)

	サポートを受けている				サポートを受けてみたい			
	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答	全体
・各競技の専門的な指導者 (有償・無償は問わない)	3.0%	6.2%	0.0%	4.3%	16.8%	13.6%	0.0%	15.2%
・ヨガやエアロビ、レクリエーションなどの インストラクター	3.0%	4.9%	0.0%	3.8%	13.9%	27.2%	0.0%	19.6%
・パーソナルトレーナー	0.0%	1.2%	0.0%	0.5%	18.8%	22.2%	0.0%	20.1%
・健康運動指導士、健康運動実践指導者などの 健康づくりのための専門家	2.0%	1.2%	0.0%	1.6%	13.9%	19.8%	0.0%	16.3%
・スポーツ推進委員	0.0%	1.2%	0.0%	0.5%	5.0%	0.0%	0.0%	2.7%
・地域や職場の身近な人	2.0%	1.2%	0.0%	1.6%	5.0%	4.9%	0.0%	4.9%

12. 職場で実施されている従業員の運動やスポーツの実施を支援する取組について

(アンケート問 19)

企業や団体に勤めている人に対して、職場で実施されている従業員の運動やスポーツの実施を支援する取組について聞いたところ、企業や団体に勤めている人の割合は全体の 74.5% (137 人) であった。そのうち、「特に取組は実施されていない」(43.1%) と回答した人が最も多く、続いて、「わからない」(24.1%)、「社内イベントの実施、社外イベントへの参加」(23.4%)、という結果であった。(複数回答) (図 14)



(表 9) 職場で実施される運動やスポーツ実施を支援する取組

(複数回答 単位：%)

	男性	女性	無回答	全体
・就業中でも可能な範囲で体を動かす運動機会づくり (スタンディングワークの実施、階段利用の推奨など)	13.3	11.5	0.0	12.4
・就業前後や空き時間を活用したスポーツ実施 (朝や就業中の体操、ストレッチ時間の設定など)	9.6	5.8	0.0	8.0
・社内イベントの実施、社外イベントへの参加	30.1	13.5	0.0	23.4
・スポーツの推奨 (クラブ活動の支援、徒歩通勤、自転車通勤の奨励)、インセンティブ (報奨金、表彰、景品等) の付与	16.9	1.9	50.0	11.7
・特に取組は実施されていない	37.3	51.9	50.0	43.1
・わからない	21.7	28.8	0.0	24.1
・その他	0.0	1.9	0.0	0.7

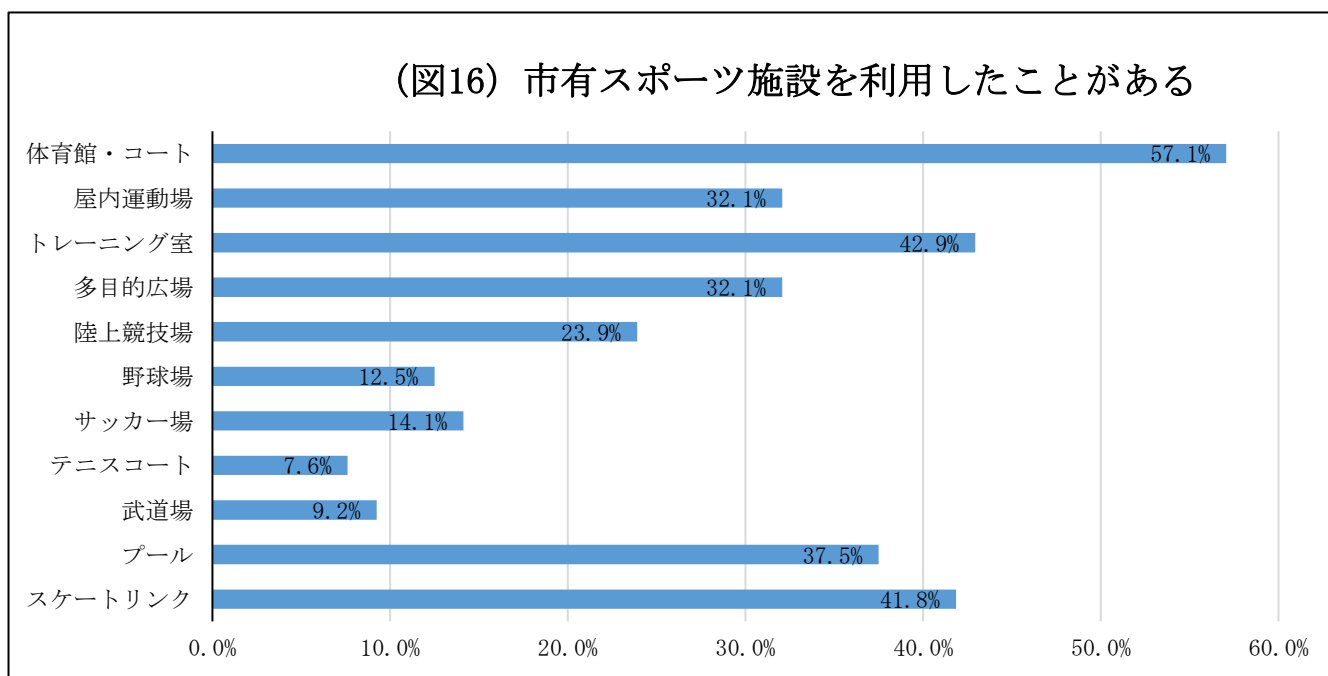
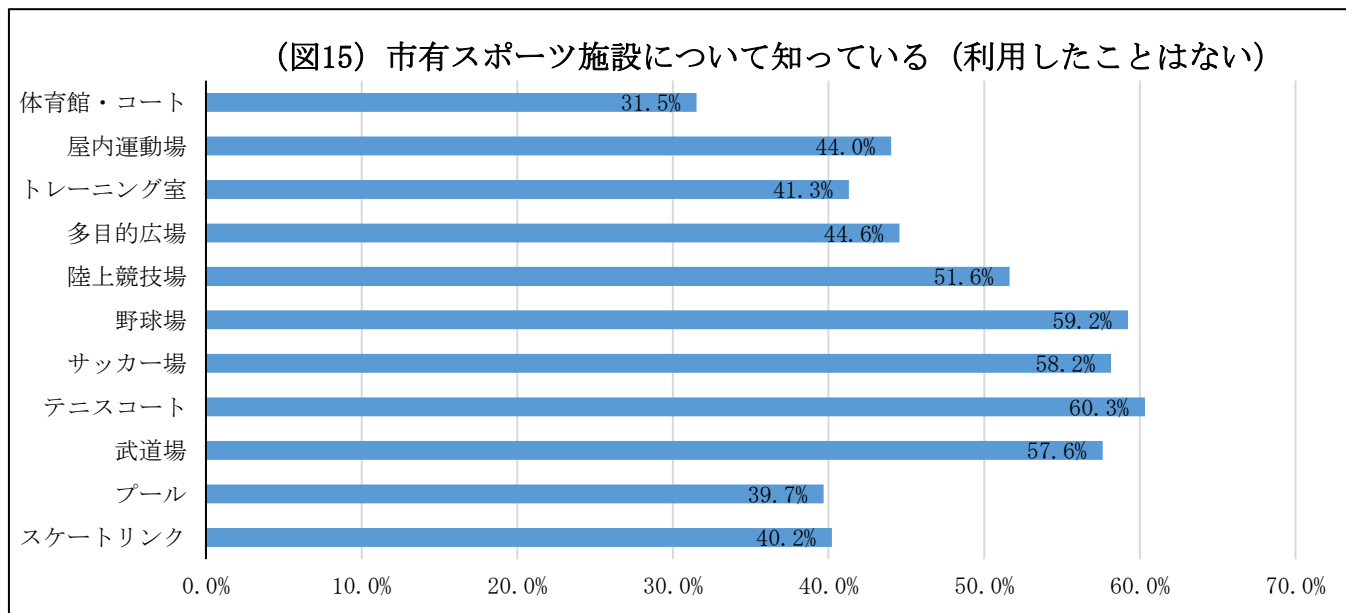
13. 市有スポーツ施設で知っている施設、又は利用したことがある施設について

(アンケート問 20)

市有のスポーツ施設について知っている(利用したことはない)、又は利用したことがあるか聞いたところ、市有スポーツ施設について知っている(利用したことはない)という回答について、「テニスコート」(60.3%)が最も多く、続いて「野球場」(59.2%)、「サッカー場」(58.2%)の順であった。

また、利用したことがあるかについては、「体育館・コート」(57.1%)が最も高く、続いて「トレーニング室」(42.9%)、「スケートリンク」(41.8%)、「プール」(37.5%)の順であった。(複数回答)

(図 15, 16)



(表 10) 市有スポーツ施設について知っている、又は利用したことがあるか

(複数回答 単位：%)

	知っている（利用したことはない）				利用したことがある			
	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答	全体
・体育館・コート	31.7	30.9	50.0	31.5	56.4	58.0	50.0	57.1
・屋内運動場	41.6	46.9	50.0	44.0	37.6	24.7	50.0	32.1
・トレーニング室	41.6	40.7	50.0	41.3	45.5	39.5	50.0	42.9
・多目的広場	42.6	45.7	100.0	44.6	35.6	28.4	0.0	32.1
・陸上競技場	52.5	50.6	50.0	51.6	24.8	22.2	50.0	23.9
・野球場	58.4	59.3	100.0	59.2	14.9	9.9	0.0	12.5
・サッカー場	60.4	54.3	100.0	58.2	16.8	11.1	0.0	14.1
・テニスコート	63.4	55.6	100.0	60.3	6.9	8.6	0.0	7.6
・武道場	58.4	56.8	50.0	57.6	7.9	9.9	50.0	9.2
・プール	40.6	39.5	0.0	39.7	38.6	35.8	50.0	37.5
・スケートリンク	40.6	39.5	50.0	40.2	41.6	42.0	50.0	41.8

○体育館・コート・・・八戸市体育館、東体育館、南部山健康運動センター、南郷体育館、長根屋内スケート場中地

○屋内運動場・・・屋内トレーニングセンター、南郷屋内運動場

○トレーニング室・・・八戸市体育館、東体育館、南部山健康運動センター、屋内トレーニングセンター、南郷体育館、長根屋内スケート場

○多目的広場・・・新井田公園、南部山健康運動公園、多賀多目的運動場

○陸上競技場・・・東運動公園、南郷カッコーの森エコーランド

○野球場・・・長根公園、東運動公園、南郷カッコーの森エコーランド

○サッカー場・・・東運動公園、南郷カッコーの森エコーランド、多賀多目的運動場（天然芝、人工芝）、長根屋内スケート場中地

○テニスコート・・・新井田公園、東運動公園、南郷カッコーの森エコーランド

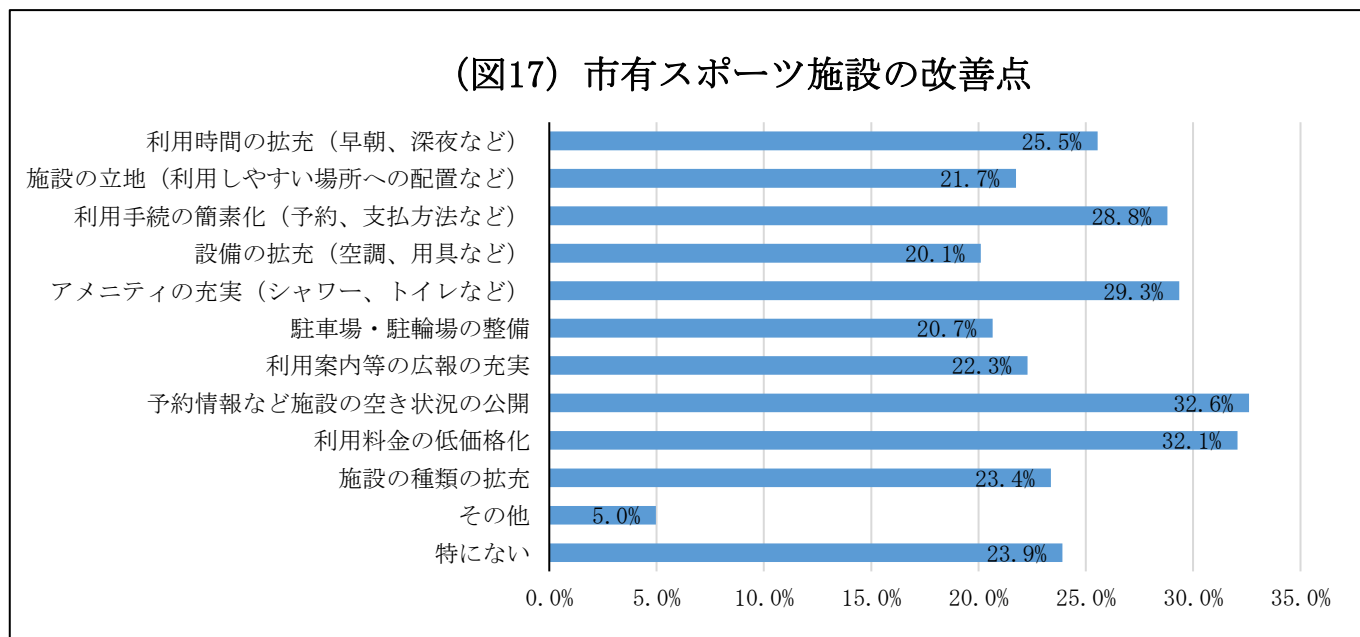
○武道場・・・武道館（レスリング場、柔道場、剣道場、相撲場）、弓道場、南郷相撲場

○プール・・・長根公園、南部山健康運動センター、南郷カッコーの森エコーランド

○スケートリンク・・・長根屋内スケート場、長根公園アイスホッケーリンク、新井田インドアリンク、フラットアリーナ

14. 市有スポーツ施設に対して改善を望むことについて（アンケート問 21）

市有スポーツ施設に対して改善を望むことについて聞いてみたところ、「予約情報など施設の空き状況の公開」（32.6%）と答えた人の割合が最も多く、続いて、「利用料金の低価格化」（32.1%）、「アメニティの充実（シャワー、トイレなど）」（29.3%）の順であった。（複数回答）（図 17）



（表 11）市有スポーツ施設に改善を望むこと

（複数回答 単位：%）

	男性	女性	無回答	全体
・利用時間の拡充（早朝、深夜など）	24.8	27.2	0.0	25.5
・施設の立地（利用しやすい場所への配置など）	16.8	28.4	0.0	21.7
・利用手続の簡素化（予約、支払い方法など）	23.8	35.8	0.0	28.8
・設備の拡充（空調、用具など）	21.8	18.5	0.0	20.1
・アメニティの充実（シャワー、トイレなど）	29.7	29.6	0.0	29.3
・駐車場、駐輪場の整備	18.8	23.5	0.0	20.7
・利用案内等の広報の充実	18.8	27.2	0.0	22.3
・予約情報など施設の空き状況の公開	25.7	42.0	0.0	32.6
・利用料金の低価格化	24.8	42.0	0.0	32.1
・施設の種類の拡充	15.8	33.3	0.0	23.4
・その他	2.0	7.4	50.0	5.0
・特にない	31.7	13.6	50.0	23.9

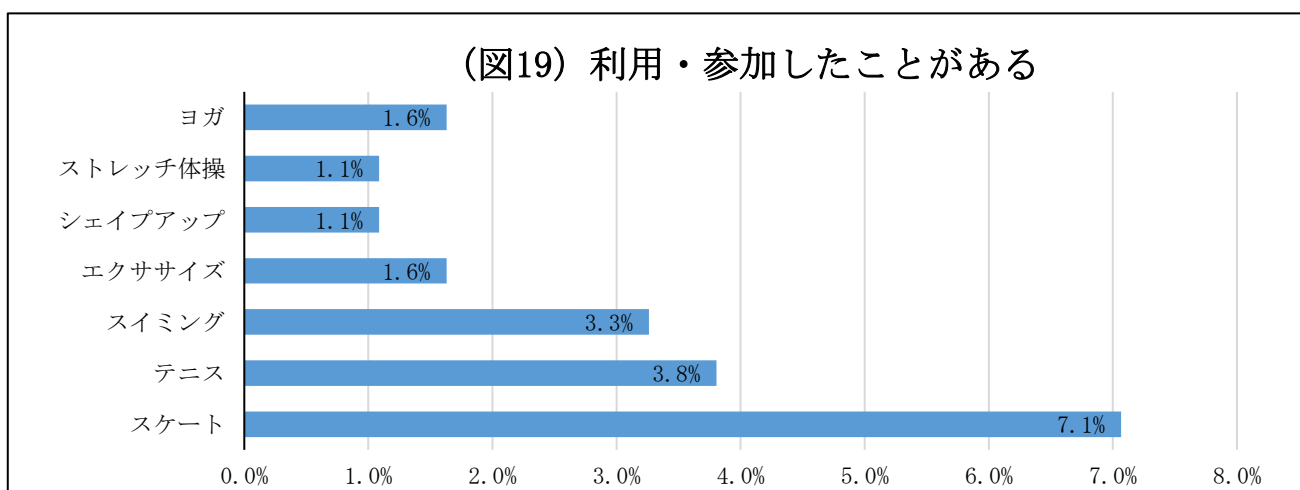
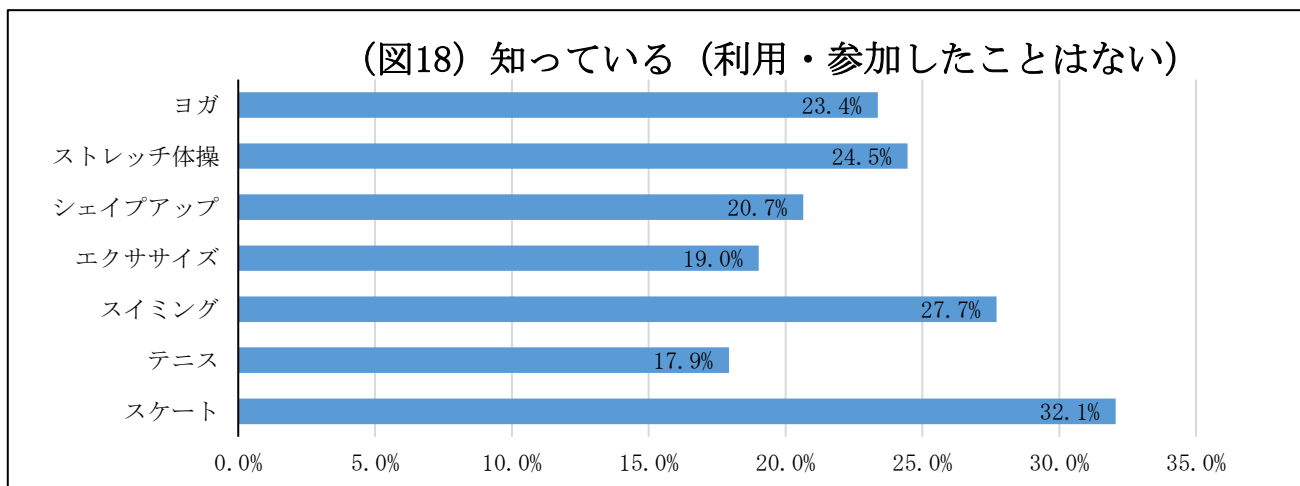
<その他の主なご意見>

- ・インストラクターの充実
- ・初心者でも入りやすい雰囲気作りをしてほしい
- ・周辺の道路が渋滞しないようにしてほしい
- ・長根球場の改築、水はけを良くしてほしい
- ・料金やロッカーのキャッシュレス化 等

15. 市有体育施設で実施しているスポーツ教室等で知っているもの、又は利用・参加したことがあるものについて（アンケート問 22）

市有の体育施設で実施しているスポーツ教室等で知っているもの、又は利用・参加したことがあるものについて聞いてみたところ、利用・参加したことはないが、知っていると回答した人のうち、「スケート」(32.1%)と答えた人が最も多かった。また、利用・参加したことがある人のうち、「スケート」(7.1%)と回答した人が最も多かったが、全体的に参加したことがある人は少なかった。(複数回答) (図 18, 19)

また、性別でみると、男性よりも女性の方がスポーツ教室の利用度がより高いことが分かった。(表 12)

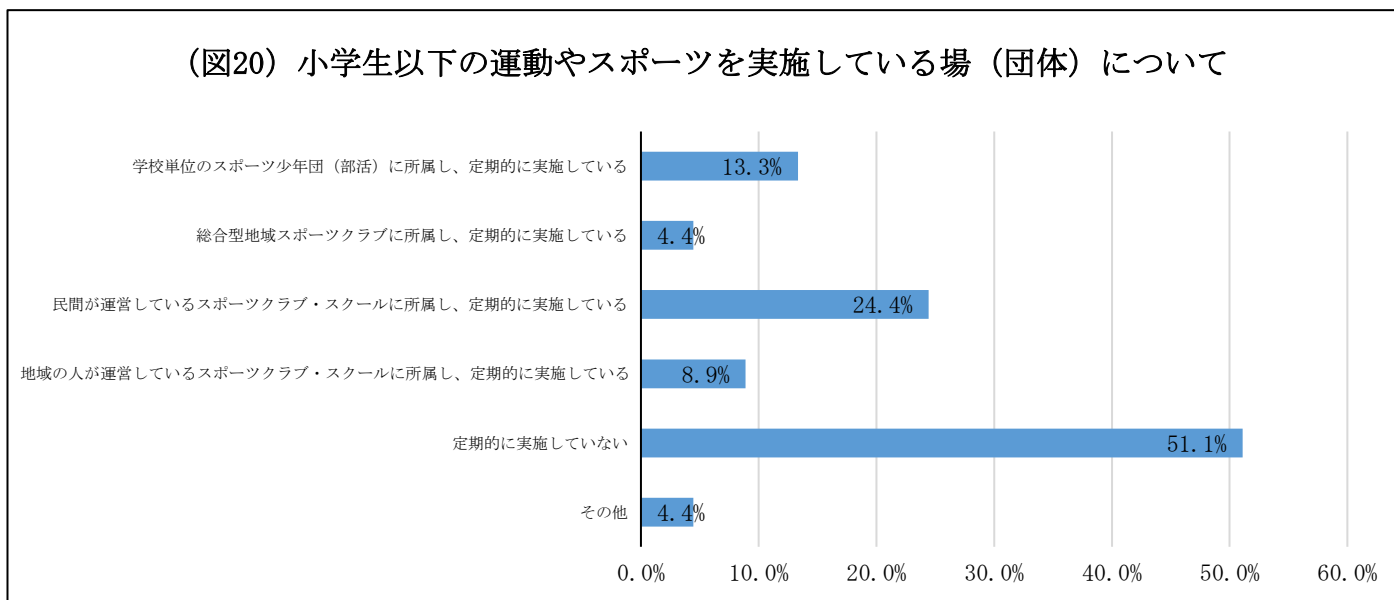


(表 12) 市有体育施設で実施しているスポーツ教室で知っている、又は利用・参加したことがあるか (複数回答 単位：%)

	知っている				利用・参加したことがある			
	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答	全体
・ ヨガ	21.8	24.7	50.0	23.4	0.0	3.7	0.0	1.6
・ ストレッチ体操	22.8	25.9	50.0	24.5	0.0	2.5	0.0	1.1
・ シェイプアップ	16.8	24.7	50.0	20.7	0.0	2.5	0.0	1.1
・ エクササイズ	16.8	21.0	50.0	19.0	0.0	3.7	0.0	1.6
・ スイミング	19.8	37.0	50.0	27.7	3.0	3.7	0.0	3.3
・ テニス	17.8	17.3	50.0	17.9	2.0	6.2	0.0	3.8
・ スケート	29.7	34.6	50.0	32.1	5.9	8.6	0.0	7.1

16. 小学生以下の子どもがいて、運動やスポーツを実施している場（団体）について （アンケート問 23）

回答者のうち、設問に該当する人（小学生以下の子どもがいる人）は 45 人（24.5%）であり、そのうち運動やスポーツを実施している人について「民間が運営しているスポーツクラブ・スクールに所属し、定期的実施している」（24.4%）と回答した人が最も多かった。また、小学生以下の子どもがいても定期的実施していない人の割合は 51.1%と高かった。（複数回答）（図 20）



（表 13）小学生以下の運動やスポーツを実施している場（団体）について

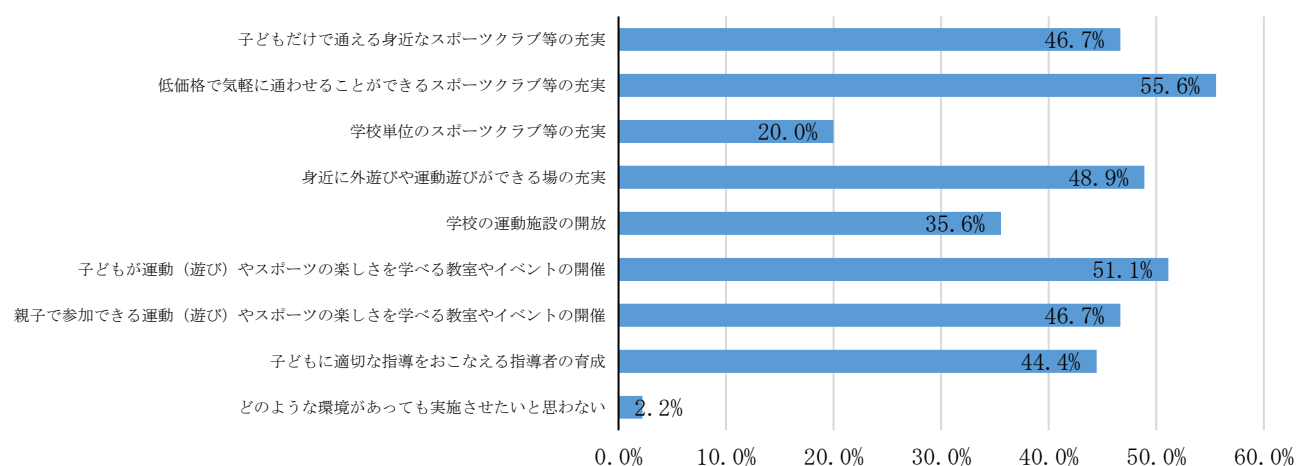
（複数回答 単位：%）

	男性	女性	無回答	全体
・学校単位のスポーツ少年団（部活）に所属し、定期的実施している	8.3	19.0	0.0	13.3
・総合型地域スポーツクラブに所属し、定期的実施している	0.0	9.5	0.0	4.4
・民間が運営しているスポーツクラブ・スクールに所属し、定期的実施している	20.8	28.6	0.0	24.4
・地域の人が運営しているスポーツクラブ・スクールに所属し、定期的実施している	16.7	0.0	0.0	8.9
・定期的実施していない	54.2	47.6	0.0	51.1
・その他	4.2	4.8	0.0	4.4

17. 小学生以下の子どもがいて、運動やスポーツを実施させるうえで必要な環境（クラブ、施設、指導者など）について（アンケート問 24）

回答者のうち、設問に該当する人（小学生以下の子どもがいる人）は 45 人（24.5%）であり、そのうち「低価格で気軽に通わせることができるスポーツクラブ等の充実」(55.6%)と回答した人が最も多かった。続いて、「子どもが運動（遊び）やスポーツの楽しさを学べる教室やイベントの開催」(51.1%)、「身近に外遊びや運動遊びができる場の充実」(48.9%)、という順であった。（複数回答）（図 21）

（図21）小学生以下の子どもに運動やスポーツをさせるうえで必要な環境について



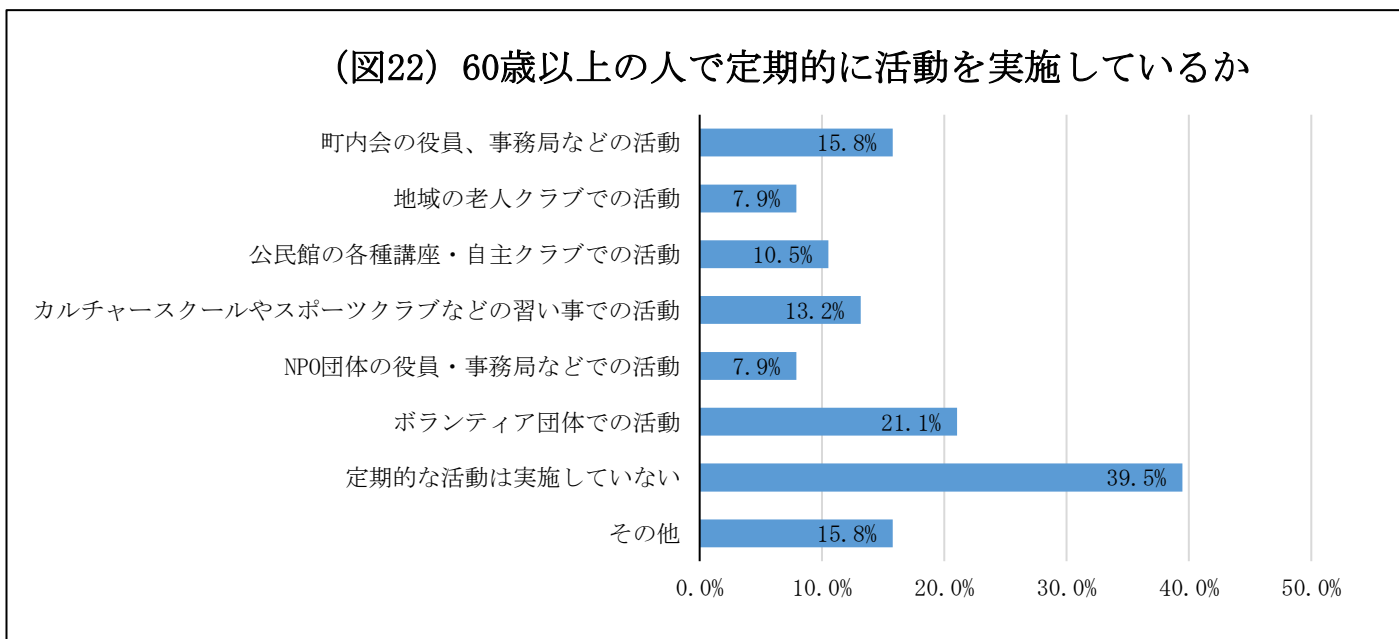
（表 14）小学生以下の子どもに運動やスポーツを実施させるうえで必要な環境

（複数回答 単位：%）

	男性	女性	無回答	全体
・子どもだけで通える身近なスポーツクラブ等の充実	33.3	61.9	0.0	46.7
・低価格で気軽に通わせることができるスポーツクラブ等の充実	45.8	66.7	0.0	55.6
・学校単位のスポーツクラブ等の充実	16.7	23.8	0.0	20.0
・身近に外遊びや運動遊びができる場の充実	37.5	61.9	0.0	48.9
・学校の運動施設の開放	37.5	33.3	0.0	35.6
・子どもが運動（遊び）やスポーツの楽しさを学べる教室やイベントの開催	41.7	61.9	0.0	51.1
・親子で参加できる運動（遊び）やスポーツの楽しさを学べる教室やイベントの開催	29.2	66.7	0.0	46.7
・子どもに適切な指導をおこなえる指導者の育成	37.5	52.4	0.0	44.4
・どのような環境があっても実施させたいと思わない	4.2	0.0	0.0	2.2

18. 60歳以上の人について定期的に実施している活動（趣味、町内会活動、老人クラブなど）について（アンケート問25）

回答者のうち、設問に該当する人（60歳以上の人）は38人（20.7%）であった。そのうち、「ボランティア団体での活動」（21.1%）が最も多かった。また、60歳以上の人で定期的に活動していないと回答した人は39.5%という結果であった。（複数回答）（図22）



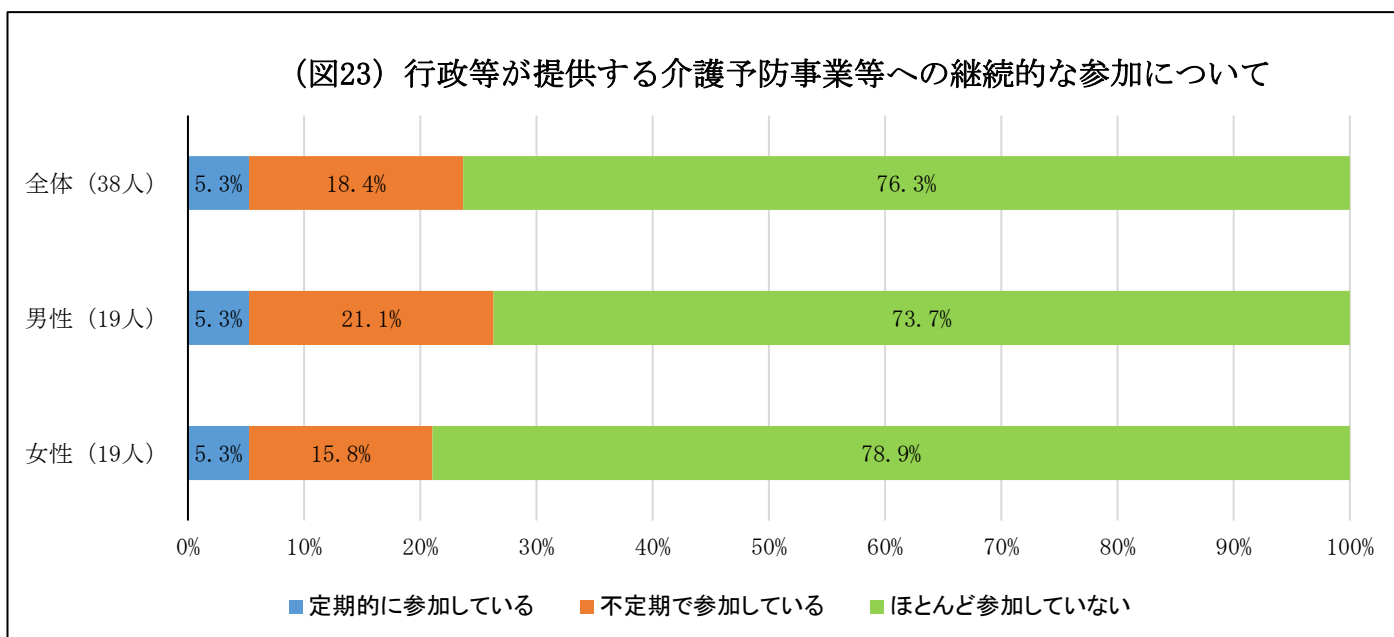
(表 15) 60歳以上で定期的に実施している活動（趣味、町内会活動、老人クラブなど）について

(複数回答 単位：%)

	男性	女性	無回答	全体
・町内会の役員、事務局などの活動	15.8	15.8	0.0	15.8
・地域の老人クラブでの活動	0.0	15.8	0.0	7.9
・公民館の各種講座・自主クラブでの活動	15.8	5.3	0.0	10.5
・カルチャースクールやスポーツクラブなどの習い事での活動	10.5	15.8	0.0	13.2
・NPO 団体の役員・事務局などでの活動	10.5	5.3	0.0	7.9
・ボランティア団体での活動	10.5	31.6	0.0	21.1
・定期的な活動は実施していない	47.4	31.6	0.0	39.5
・その他	15.8	15.8	0.0	15.8

19. 60 歳以上の人について行政などが提供している介護予防事業等への継続的な参加状況について（アンケート問 26）

回答者のうち、設問に該当する人（60 歳以上の人）は 38 人（20.7%）であり、そのうち、76.3%が「ほとんど参加していない」という結果であった。また、性別に見た場合、数値の分布に大きな差異はなく、男女ともに「ほとんど参加していない」の割合が高い傾向にあった。（図 23）



20. 2022年度の1年間に会場で直接、又はテレビなどで観戦したスポーツについて

(アンケート問 27-1.2)

2022年度の1年間に会場で直接、又はテレビなどで観戦したスポーツについて聞いてみたところ、会場で直接観戦した人の中で、「Jリーグ」(7.6%)と回答した人が最も多かった。続いて、「アイスホッケー」(7.1%)、「バスケットボール」(4.9%)、「スケート」(4.9%)、「プロ野球」(3.8%)という結果であった。

また、性別で見ると、男性では、「Jリーグ」(8.9%)、女性では、「アイスホッケー」(7.4%)が最も多いという結果であった。

次に、テレビなどで観戦した人については、「プロ野球」(71.7%)と回答した人が最も多かった。続いて、「サッカー日本代表」(63.6%)、「高校野球」(63.0%)、「大相撲」(36.4%)、「マラソン、駅伝」(35.3%)という結果であった。

(表 16) 2022年度の1年間で会場で直接観戦、又はテレビなどで観戦したスポーツについて

<会場で直接観戦>

(複数回答 単位：%)

項目	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (184人)	Jリーグ (7.6)	アイスホッケー (7.1)	バスケットボール (4.9)	スケート (4.9)	プロ野球 (3.8)
男 性 (101人)	Jリーグ (8.9)	アイスホッケー (6.9)	プロ野球 (5.0)	バスケットボール (5.0)	スケート (5.0)
女 性 (81人)	アイスホッケー (7.4)	Jリーグ (6.2)	バスケットボール (4.9)	スケート (4.9)	プロ野球 (2.5)
無回答 (2人)	-	-	-	-	-
[年 齢 別]					
10代 (1人)	-	-	-	-	-
20代 (22人)	Jリーグ (9.1)	アイスホッケー (9.1)	-	-	-
30代 (33人)	Jリーグ (9.1)	バスケットボール (9.1)	アイスホッケー (9.1)	プロ野球 (6.1)	バレーボール※1 (3.0)
40代 (51人)	Jリーグ (9.8)	その他サッカー (5.9)	バスケットボール (5.9)	アイスホッケー (5.9)	プロ野球※2 (3.9)
50代 (39人)	スケート (12.8)	Jリーグ (7.7)	アイスホッケー (5.1)	プロ野球※3 (2.6)	-
60代 (21人)	バスケットボール (9.5)	大相撲 (4.8)	-	-	-
70代以上 (17人)	ゴルフ (5.9)	-	-	-	-

※1 以下同順位 自転車競技（競輪を除く）

※2 以下同順位 スケート

※3 以下同順位 サッカー日本代表、その他サッカー、ゴルフ、武道・ボクシング・レスリング

<テレビ(インターネット)などで観戦>

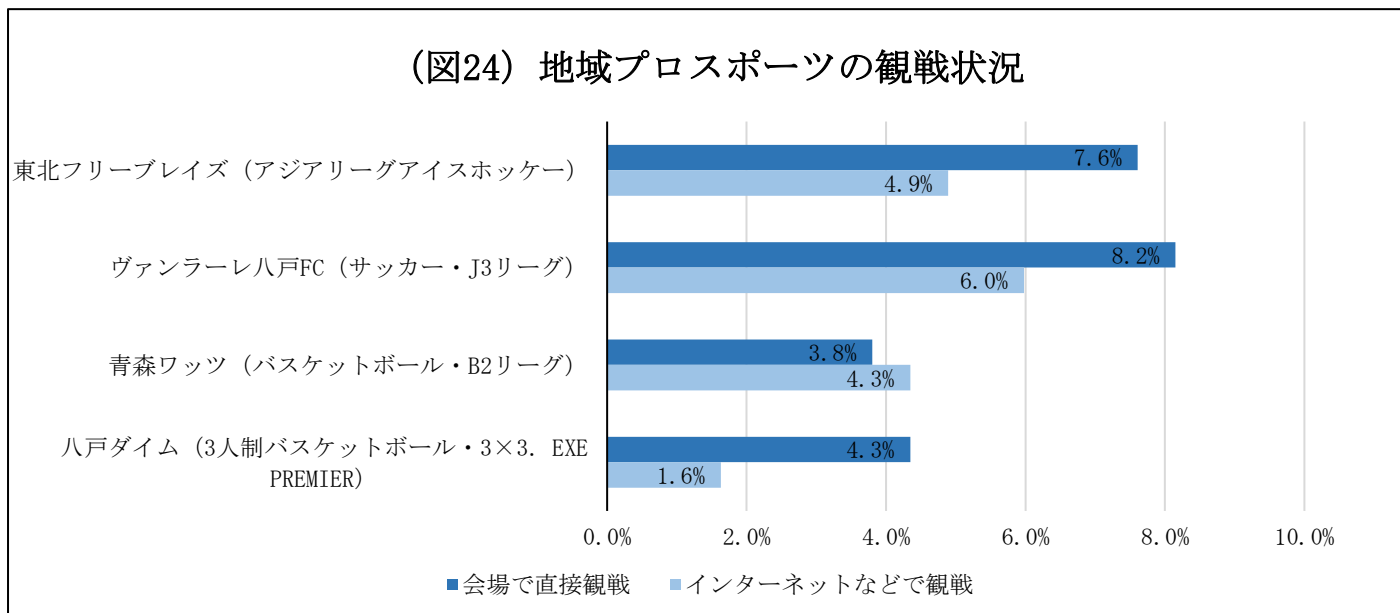
(複数回答 単位:%)

項目	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (184人)	プロ野球 (71.7)	サッカー日本代表 (63.6)	高校野球 (63.0)	大相撲 (36.4)	マラソン・駅伝 (35.3)
男性 (101人)	プロ野球 (76.2)	サッカー日本代表 (69.3)	高校野球 (61.4)	大相撲 (41.6)	マラソン・駅伝 (40.6)
女性 (81人)	プロ野球 (67.9)	高校野球 (66.7)	サッカー日本代表 (58.0)	スケート (33.3)	大相撲※4 (29.6)
無回答 (2人)	大相撲 (50.0)	武道・ホッケー等 (50.0)	-		
[年齢別]					
10代 (1人)	プロ野球 (100.0)	-	-	-	-
20代 (22人)	プロ野球 (81.8)	高校野球 (63.6)	サッカー日本代表 (54.5)	その他野球 (27.3)	バレーボール (27.3)
30代 (33人)	プロ野球 (66.7)	サッカー日本代表 (66.7)	高校野球 (63.6)	大相撲 (33.3)	マラソン・駅伝 (33.3)
40代 (51人)	高校野球 (64.7)	サッカー日本代表 (64.7)	プロ野球 (60.8)	マラソン・駅伝 (27.5)	大相撲 (21.6)
50代 (39人)	プロ野球 (71.8)	サッカー日本代表 (66.7)	高校野球 (56.4)	マラソン・駅伝 (51.3)	大相撲 (46.2)
60代 (21人)	プロ野球 (85.7)	サッカー日本代表 (66.7)	高校野球 (57.1)	大相撲 (42.9)	マラソン・駅伝 (38.1)
70代以上 (17人)	プロ野球 (82.4)	高校野球 (82.4)	大相撲 (70.6)	サッカー日本代表 (58.8)	マラソン・駅伝 (58.8)

※4 以下同順位 マラソン・駅伝

21. 2022年度の1年間に会場で直接、又はインターネットなどで観戦した「地域のプロスポーツ」について（アンケート問 27-3）

2022年度1年間の地域プロスポーツチームの試合観戦状況について聞いてみたところ、「会場で直接観戦」は、ヴァンラーレ八戸FCが8.2%で最も高い割合であった。また、「インターネットなどで観戦」についても、ヴァンラーレ八戸FCが6.0%で最も高い割合であった。（複数回答）（図 24）



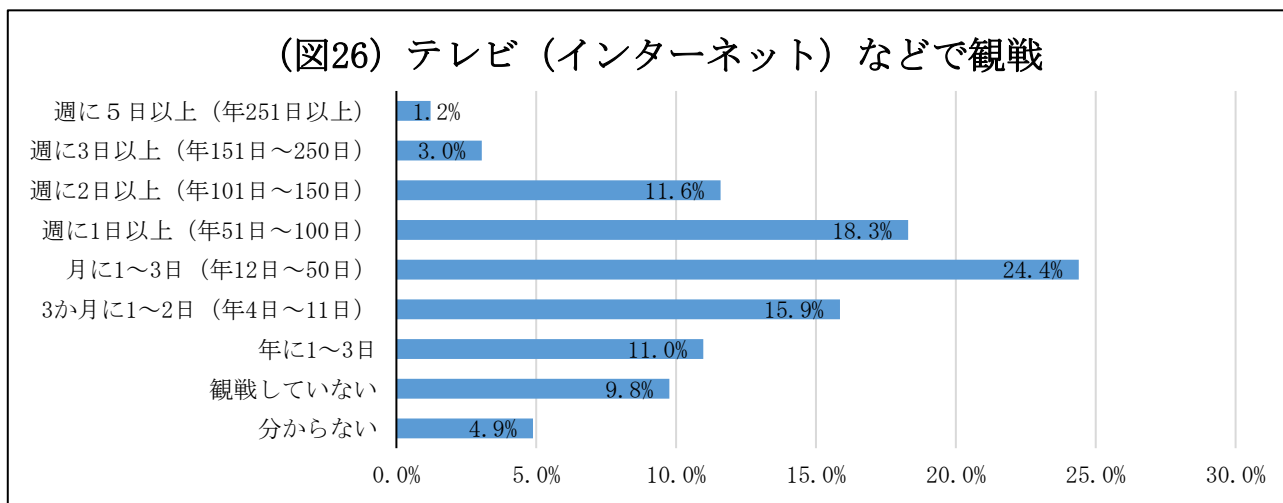
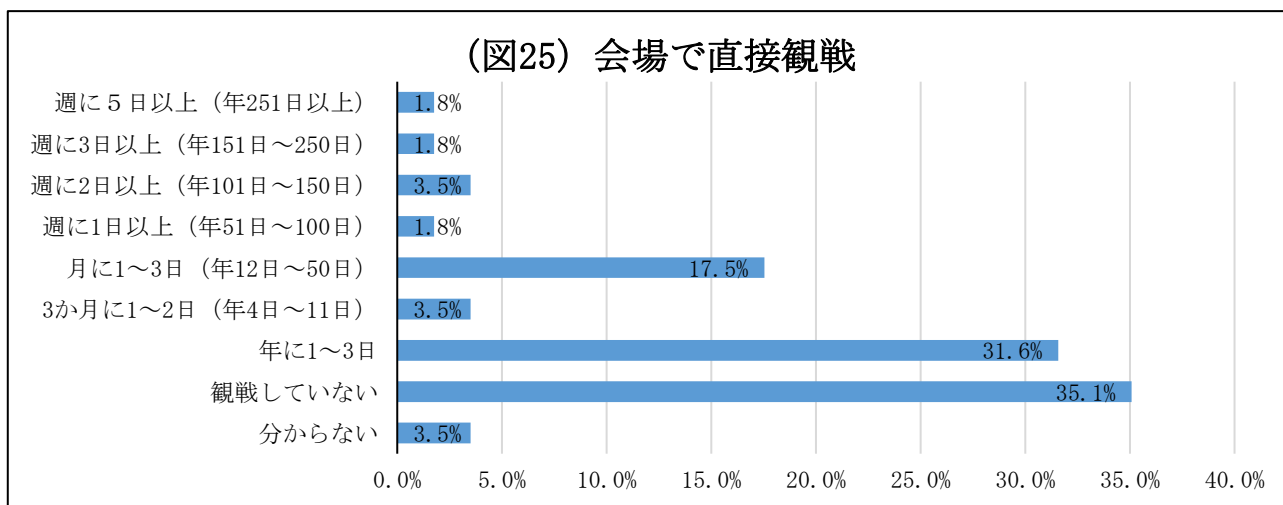
(表 17) 地域プロスポーツの観戦状況

(複数回答 単位：%)

	会場で直接観戦				インターネットなどで観戦			
	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答	全体
・東北フリーブレイズ (アジアリーグアイスホッケー)	7.9	7.4	0.0	7.6	5.0	4.9	0.0	4.9
・ヴァンラーレ八戸FC (サッカー・J3リーグ)	10.9	4.9	0.0	8.2	4.0	8.6	0.0	6.0
・青森ワッツ (バスケットボール・B2リーグ)	4.0	3.7	0.0	3.8	3.0	6.2	0.0	4.3
・八戸ダイム (3人制バスケットボール・3×3. EXE PREMIER)	4.0	4.9	0.0	4.3	2.0	1.2	0.0	1.6

22. 2022 年度の 1 年間に会場で直接、又はテレビ（インターネット）などで観戦した合計日数について（アンケート問 28）

2022 年度の 1 年間に会場で直接、又はテレビなどで観戦した合計日数について聞いてみたところ、会場で直接観戦については、「観戦していない」人が 35.1%と最も多く、また、テレビ（インターネット）などで観戦した人については、「月に 1～3 日」（24.4%）が最も高い結果であった。（図 25、26）



(表 18) 会場で直接観戦、又はテレビなどで観戦した合計日数

(単位：%)

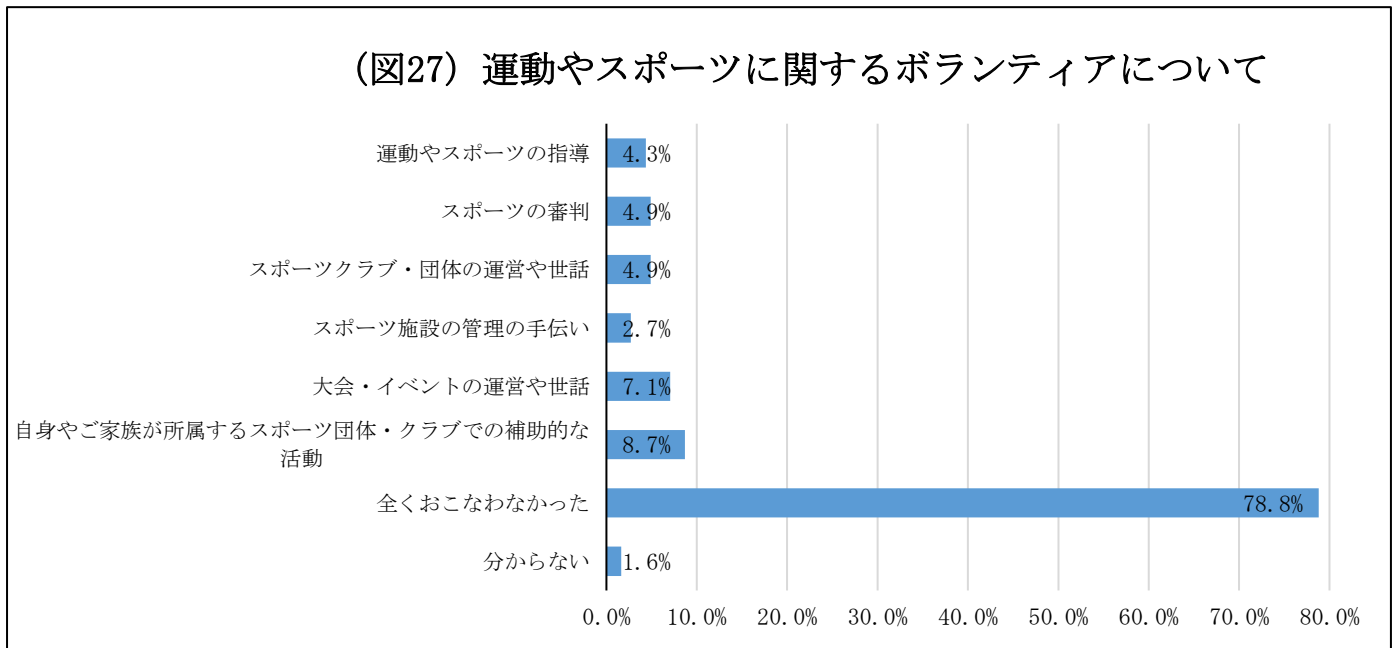
	会場で直接観戦				テレビ(インターネット)などで観戦			
	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答	全体
・週に 5 日以上 (年 251 日以上)	3.3	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0	0.0	1.2
・週に 3 日以上 (年 151 日～250 日)	3.3	0.0	0.0	1.8	5.5	0.0	0.0	3.0
・週に 2 日以上 (年 101 日～150 日)	3.3	3.8	0.0	3.5	7.7	16.9	0.0	11.6
・週に 1 日以上 (年 51 日～100 日)	0.0	3.8	0.0	1.8	19.8	16.9	0.0	18.3
・月に 1～3 日 (年 12 日～50 日)	20.0	15.4	0.0	17.5	29.7	18.3	0.0	24.4
・3 か月に 1～2 日 (年 4 日～11 日)	3.3	3.8	0.0	3.5	15.4	16.9	0.0	15.9
・年に 1～3 日	36.7	26.9	0.0	31.6	6.6	16.9	0.0	11.0
・観戦していない	26.7	42.3	100.0	35.1	7.7	11.3	50.0	9.8
・分からない	3.3	3.8	0.0	3.5	5.5	2.8	50.0	4.9

23. 2022年度の1年間でおこなった運動やスポーツに関するボランティア活動について

(アンケート問 29)

2022年度の1年間でおこなった運動やスポーツに関するボランティア活動について聞いたところ、「全くおこなわなかった」人が78.8%となった。また、ボランティア活動をおこなった人の中では「自身やご家族が所属するスポーツ団体・クラブでの補助的な活動」が8.7%と高い割合となった。(複数回答)

(図 27)



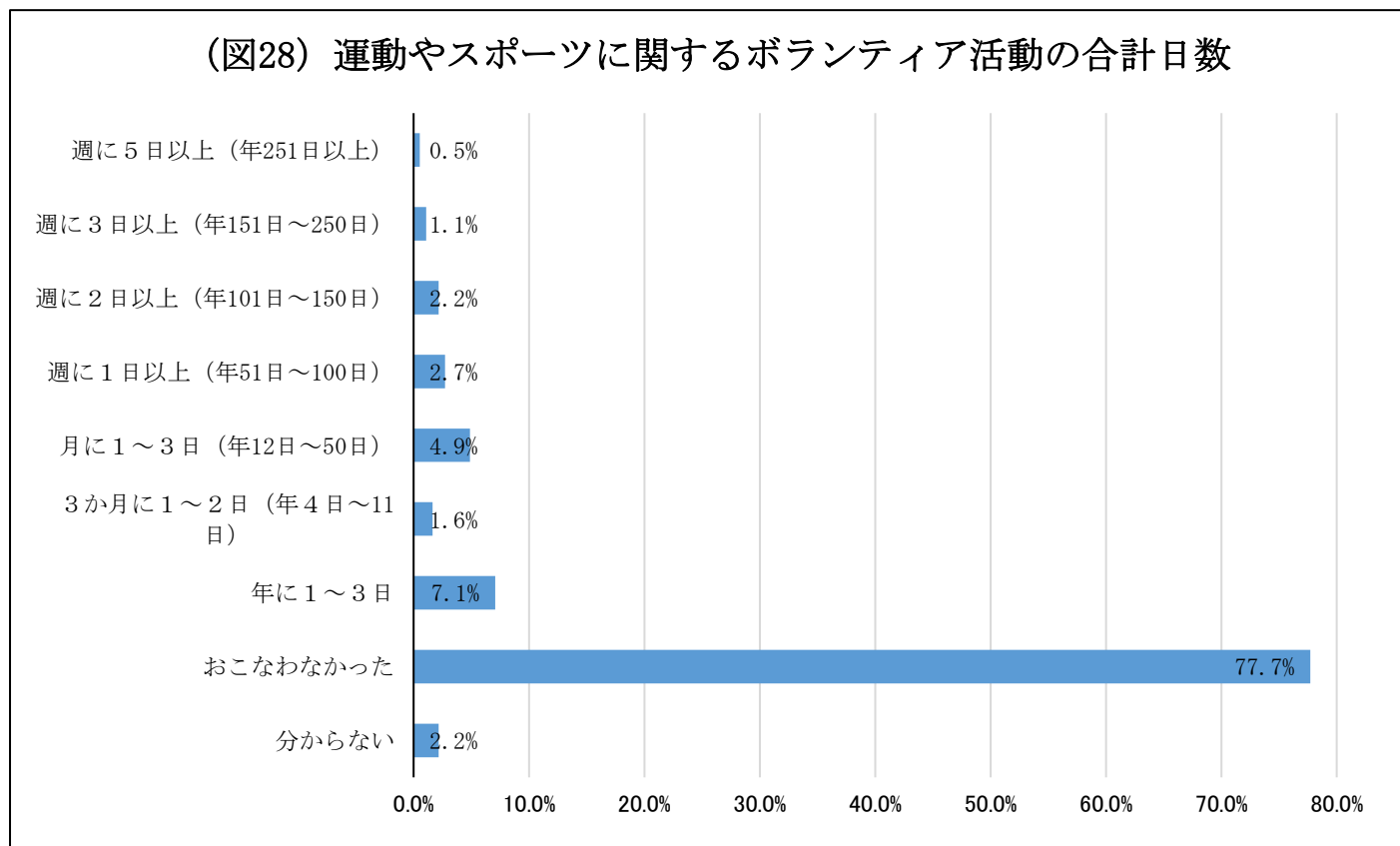
(表 19) 運動やスポーツに関するボランティアについて

(複数回答 単位：%)

	男性	女性	無回答	全体
・運動やスポーツの指導	6.9	1.2	0.0	4.3
・スポーツの審判	7.9	1.2	0.0	4.9
・スポーツクラブ・団体の運営や世話	6.9	1.2	50.0	4.9
・スポーツ施設の管理の手伝い	3.0	2.5	0.0	2.7
・大会・イベントの運営や世話	9.9	3.7	0.0	7.1
・自身やご家族が所属するスポーツ団体・クラブでの補助的な活動	6.9	9.9	50.0	8.7
・全くおこなわなかった	78.2	80.2	50.0	78.8
・わからない	1.0	2.5	0.0	1.6

24. 2022 年度の 1 年間でおこなった運動やスポーツに関するボランティア活動を行った合計日数について（アンケート問 30）

2022 年度 1 年間でおこなった運動やスポーツに関するボランティア活動の合計日数について聞いたところ、「おこなわなかった」人が 77.7%となった。続いて、「年に 1～3 日」（7.1%）、「月に 1～3 日」（4.9%）という結果であった。（図 28）



(表 20) 運動やスポーツに関するボランティア活動の合計日数

(単位：%)

	男性	女性	無回答	全体
・週に 5 日以上 (年 251 日以上)	0.0	1.2	0.0	0.5
・週に 3 日以上 (年 151 日～250 日)	1.0	1.2	0.0	1.1
・週に 2 日以上 (年 101 日～150 日)	4.0	0.0	0.0	2.2
・週に 1 日以上 (年 51 日～100 日)	5.0	0.0	0.0	2.7
・月に 1～3 日 (年 12 日～50 日)	4.0	6.2	0.0	4.9
・3 か月に 1～2 日 (年 4 日～11 日)	1.0	2.5	0.0	1.6
・年に 1～3 日	6.9	7.4	0.0	7.1
・おこなわなかった	77.2	79.0	50.0	77.7
・分からない	1.0	2.5	50.0	2.2